
東峰村公共施設等総合管理計画

施設白書

平成 29 年 3 月



目 次

第1章 公共施設をとりまく背景.....	1
第2章 村の概況.....	2
1) 位置・地勢・沿革	2
2) 人口	3
3) 財政の状況	5
第3章 公共施設の状況	7
1) 公共施設の状況	7
第4章 公共施設カルテ	14

第1章 公共施設をとりまく背景

わが国においては、高度経済成長期から急激な人口増加と社会変化により、公共施設の整備が進められてきました。それら公共施設の建築年数が30年以上経過し、建物の老朽化等が進み、大規模改修や修繕、建替えが必要となっています。

一方で、近年のわが国の経済状況は低迷している上に、少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加、生産年齢人口の減少に伴う税収の減少等、将来の財政状況は厳しい状況にあります。

東峰村（以下「本村」という。）においては、平成17年に2村による合併をしており、庁舎等の建物施設や道路等のインフラ施設（以下「公共施設等」という。）を2村分保有することとなりました。公共施設等のうち、建物施設については高度経済成長期の人口増加と社会変化に伴い整備されたものが多く、住民生活の基盤として公共サービスの提供を行ってきましたが、約5割が建築後30年経過していることから、近い将来、大規模改修や建替え等更新時期を一斉に迎えることとなります。

しかしながら、本村では人口減少が進行中であり、40年先には人口の約4割が減少すると予想されており、税収の減少が見込まれることから、公共施設等の維持や更新等に必要な財源の確保は、より一層困難なものとなっていきます。

その一方で、少子高齢化や、情報化の飛躍的な進展等といった社会経済の変化に伴う住民ニーズの多様化等によって地方行政が担う役割がより一層大きくなっており、地方が主体的に継続性のある行政運営を図るためには、本村が保有するすべての行政資源について効率的かつ効果的に活用していくことが求められます。

このような状況を踏まえ、本村全体の調和を図りながら、「持続可能なまちづくりに必要な公共施設等を維持していくために公共施設等の状況を把握すること」、また、「本村における未利用財産の売却や利活用を具体化すること」を目的として本白書を整理しました。

第2章 村の概況

1) 位置・地勢・沿革

(1) 位置と地勢

東峰村は、福岡県の中東部、大分県との県境に位置し、東は大分県日田市、西は朝倉市と、北は嘉麻市、添田町と隣接しています。平成17年3月に旧小石原村と旧宝珠山村が合併し、村の総面積は51.97km²です。

英彦山系に属する標高700m級の峰々に囲まれる本村は、標高150m～700mと高低差が大きく、急峻な斜面や盆地を持つ地形となっています。また、村の土地面積のおよそ85%が山林と原野で占められ、耕地は6%ほどで、筑後川上流の大肥川や支流の宝珠山川沿いに棚田を形成しています。

交通体系は、国道211号が宝珠山地区から小石原地区を縦断して南北に走り、小石原上町で東西に走る国道500号と交差しています。また、宝珠山地区の中央部を南北にJR日田彦山線が通り、福岡方面と大分方面の両方に通じています。道の駅等も整備され、本村を中継して添田町方面や嘉麻市方面に伸びる交通網も整備されています。



(2) 沿革

明治22年の市町村制導入により、上座郡の小石原村と鼓村が小石原村に、宝珠山村と福井村が宝珠山村にそれぞれ合併しました。

宝珠山地区では、明治37年、明治40年に炭坑が開かれ、明治45年に朝倉炭田宝珠山炭坑と改称され石炭採掘で賑わいました。また小石原地区でも、昭和15年に小石原炭坑が開坑しています。炭鉱開発に伴う石炭産業の繁栄によって、村の人口は増加し、昭和25年頃に1万人近くに達しました。

石炭運搬のため戦前から計画されていた日田彦山線が昭和31年に開通しましたが、エネルギー革命の影響により石炭産業が衰退し、昭和38年に宝珠山炭坑が閉山されると、急激な人口減少がみられました。現在の人口はピーク時の3分の1ほどとなっています。

このような経緯のなかで、平成17年3月28日に、旧小石原村と旧宝珠山村が合併し、東峰村が誕生しました。

2) 人口

(1) 人口と世帯数の推移

本村の人口は、2015（H27）年国勢調査において 2,174 人となっており、1985（昭和 60）年調査以降は減少傾向にあります。

同様に世帯数も減少傾向にあり、2015（H27）年調査では 742 世帯となっています。

表 人口・世帯数

年度	人口 (人)	世帯数 (世帯)	世帯あたり人数 (人/世帯)
1985 (S60) 年	3,560	918	3.9
1990 (H 2) 年	3,371	901	3.7
1995 (H 7) 年	3,117	866	3.6
2000 (H12) 年	2,948	853	3.5
2005 (H17) 年	2,749	827	3.3
2010 (H22) 年	2,432	795	3.1
2015 (H27) 年	2,174	742	2.9

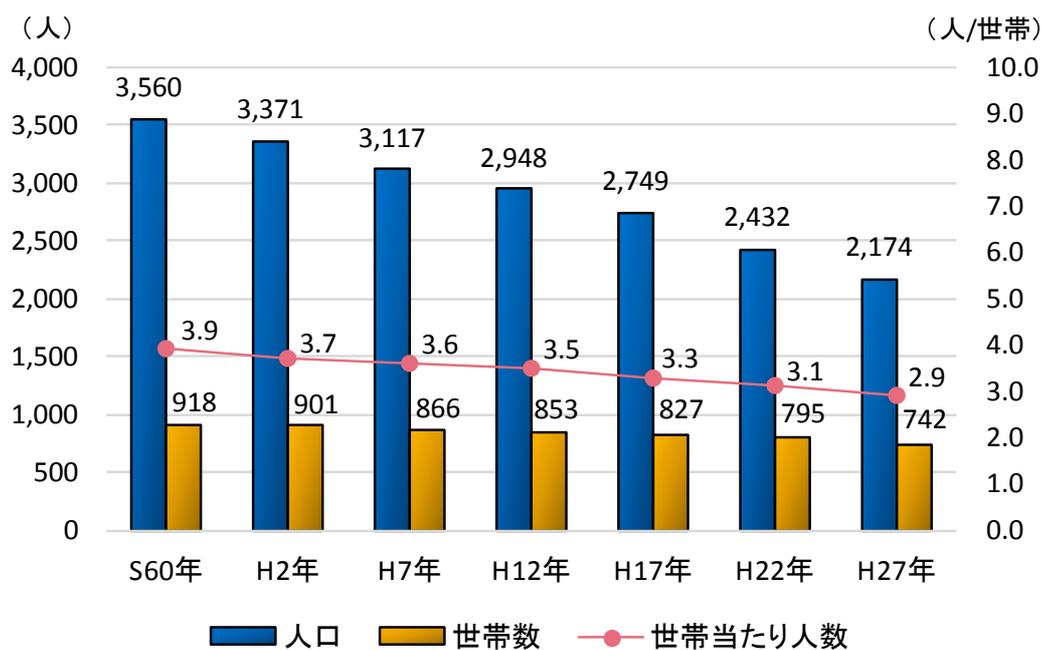


図 人口・世帯数の推移

(2) 年齢別人口

年齢別の人口をみると、1985（昭和 60）以降、「15 歳未満」及び「15～64 歳」人口の割合は減少傾向にあります。

また、「65 歳以上」の割合は増加傾向にあり、2010 年より 2.5 ポイント増加して 40.5%となっています。

表 年齢区分別人口

年度	総人口 (人)	15 歳未満 (人)	15～64 歳 (人)	65 歳以上 (人)
1985 (S60) 年	3,560	624	2,251	685
1990 (H2) 年	3,371	592	1,990	789
1995 (H7) 年	3,117	488	1,732	897
2000 (H12) 年	2,948	397	1,572	979
2005 (H17) 年	2,749	316	1,420	1,013
2010 (H22) 年	2,432	253	1,256	923
2015 (H27) 年	2,174	222	1,071	881



図 年齢区分別人口の推移

出典 H27 国勢調査

3) 財政の状況

(1) 歳入の内訳

2015（H27）年度普通会計決算の歳入額は32億9,547万円であり、前年度と比較すると約1.9億円増加しています。自主財源では「諸収入」が12.1%、依存財源では「地方交付税」が48.0%と最も割合が大きくなっています。

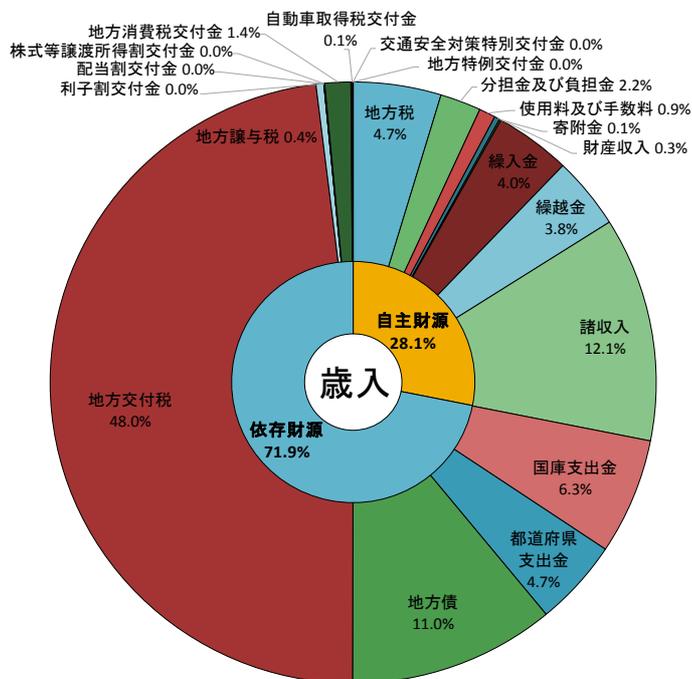


図 2015（H27）年度歳入の内訳

表 2014（H26）年度と2015（H27）年度の歳入増減 (千円)

区分	款	2015(H27)年度		2014(H26)年度		増減額		
		決算額	構成比	決算額	構成比			
自主財源	地方税	154,340	28.1%	153,221	29.6%	1,119		
	分担金及び負担金	71,728		52,372		19,356		
	使用料及び手数料	29,070		28,518		552		
	財産収入	9,263		16,809		△ 7,546		
	寄附金	2,635		1,214		1,421		
	繰入金	134,040		237,992		△ 103,952		
	繰越金	127,492		221,006		△ 93,514		
	諸収入	397,809		207,860		189,949		
	国庫支出金	205,659		143,573		62,086		
依存財源	都道府県支出金	153,480	71.9%	276,124	70.4%	△ 122,644		
	地方債	363,256		194,222		169,034		
	地方交付税	1,581,927		1,525,262		56,665		
	地方譲与税	13,756		13,176		580		
	利子割交付金	250		296		△ 46		
	配当割交付金	710		945		△ 235		
	株式等譲渡所得割交付金	662		527		135		
	地方消費税交付金	45,537		26,846		18,691		
	自動車取得税交付金	3,114		2,080		1,034		
	地方特例交付金	245		377		△ 132		
	交通安全対策特別交付金	497		0		497		
	合計	3,295,470		100.0%		3,102,420	100.0%	193,050

出典 総務省地方財政状況調査表

(2) 歳出の内訳

2015（H27）年度決算の歳出額は30億9,853万円となっており、前年度と比較すると約1.23億円増加しています。

また、義務的経費では、「人件費」（18.2%）、投資的経費では「普通建設事業費」（15.6%）一般行政経費では「物件費」（15.1%）その他経費では「投資・出資・貸付金」（14.7%）の構成割合が大きくなっています。

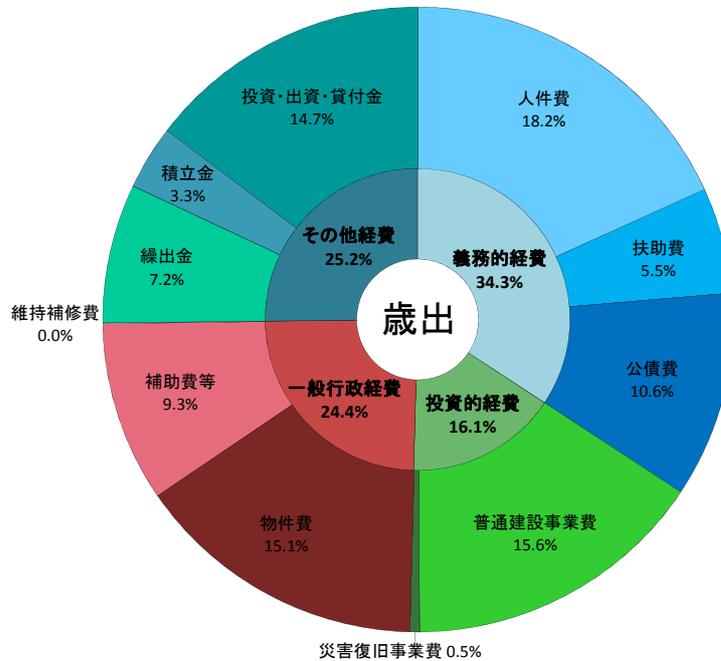


図 2015（H27）年度歳出の内訳

表 2014（H26）年度と2015（H27）年度の歳出の増減（千円）

区分	款	2015(H27)年度		2014(H26)年度		増減額
		決算額	構成比	決算額	構成比	
義務的経費	人件費	562,678	34.3%	538,826	34.6%	23,852
	扶助費	170,045		124,055		45,990
	公債費	330,516		365,178		△ 34,662
投資的経費	普通建設事業費	483,384	16.1%	352,896	17.5%	130,488
	災害復旧事業費	15,098		167,869		△ 152,771
一般行政経費	物件費	466,734	24.4%	510,498	25.9%	△ 43,764
	補助費等	288,803		256,500		32,303
	維持補修費	1,310		4,049		△ 2,739
その他経費	繰出金	223,298	25.2%	246,479	22.0%	△ 23,181
	積立金	102,499		110,359		△ 7,860
	投資・出資・貸付金	454,169		298,219		155,950
合計		3,098,534	100.0%	2,974,928	100.0%	123,606

出典 総務省地方財政状況調査表

第3章 公共施設の状況

1) 公共施設の状況

(1) 保有量

本村が保有する公共施設等の総施設数は76施設、延床面積約4.6万㎡です。

大分類^{※1}ごとに延床面積で比べると「その他」施設が最も多く、次いで「保健・福祉施設」となっており、この2つの用途で全体の約4割を占めています。

表 公共施設（建築物）集計表

大分類	施設数		延床面積 (㎡)	割合
	(箇所)	(棟)		
住民文化系施設	5	5	3,296	7.1%
社会教育系施設	1	1	107	0.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	14	54	5,724	12.4%
産業系施設	4	11	2,627	5.7%
学校教育系施設	1	6	6,466	14.0%
子育て支援施設	2	2	592	1.3%
保健・福祉施設	4	7	7,766	16.8%
医療施設	2	2	883	1.9%
行政系施設	17	18	3,709	8.0%
公営住宅	13	31	3,836	8.3%
公園	1	1	165	0.4%
その他施設	12	26	11,060	23.9%
合計	76	164	46,231	100.0%

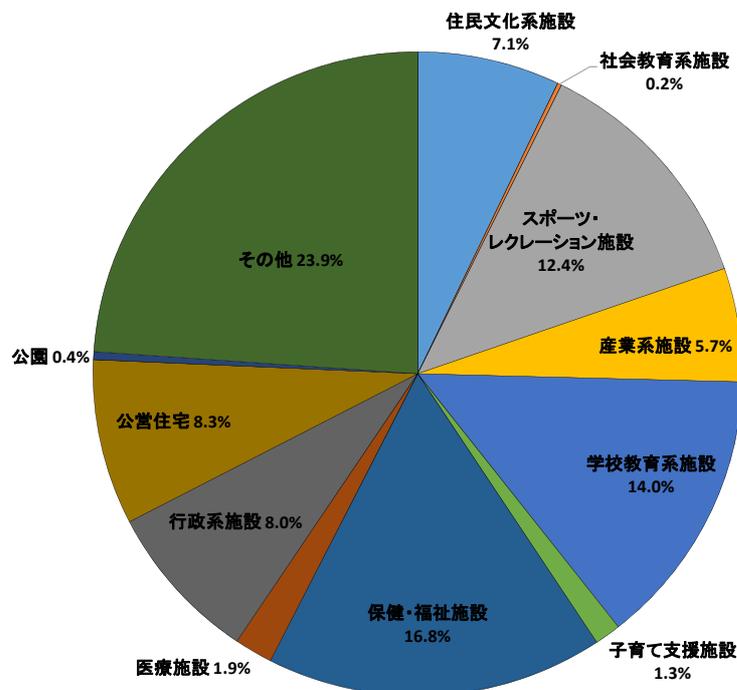


図 公共施設大分類別の延床面積割合

※1…大分類について

村総合管理計画においては、総務省公表の更新費用試算ソフト^{※2}で定義された下記の大分類で区分しています。

表 施設項目一覧表

大分類	中分類	施設名例
住民文化系施設	集会施設等	集会施設・集落センター
	文化施設	コミュニティセンター
社会教育系施設	博物館等	郷土資料館
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	体育館・武道場・弓道場等
	レクリエーション・観光施設	観光センター
	保養施設	キャンプ場・宿泊施設等
産業系施設	産業系施設	産業センター等
学校教育系施設	学校	小学校・中学校
子育て支援施設	幼保・こども園	保育所
		放課後児童クラブ・児童会
保健・福祉施設	幼児・児童施設	児童館・児童センター等
	高齢福祉施設	老人福祉センター等
医療施設	医療施設	診療所
		保健施設
行政系施設	庁舎等	役場庁舎
	その他の行政施設	消防詰所・消防格納庫
公営住宅等	公営住宅	村営住宅・特定公共賃貸住宅・一般賃貸住宅
その他施設	その他	上記以外・車庫・教員住宅 普通財産等

※2…更新費用試算ソフトについて

財団法人自治総合センターが開催した「2010年度地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会」において開発されたものを総務省において一部変更を加え、公共施設等総合管理計画策定のための補助プログラムとして公開しているソフトウェア。

(2) 配置状況

住民の殆どが国道及び県道沿いに居住しており、公共施設も、国道及び県道沿いに集中して整備しています。大型施設の整備は行っておらず、床面積が最大の施設は学校教育施設である東峰学園が、村内最大の施設となっています。

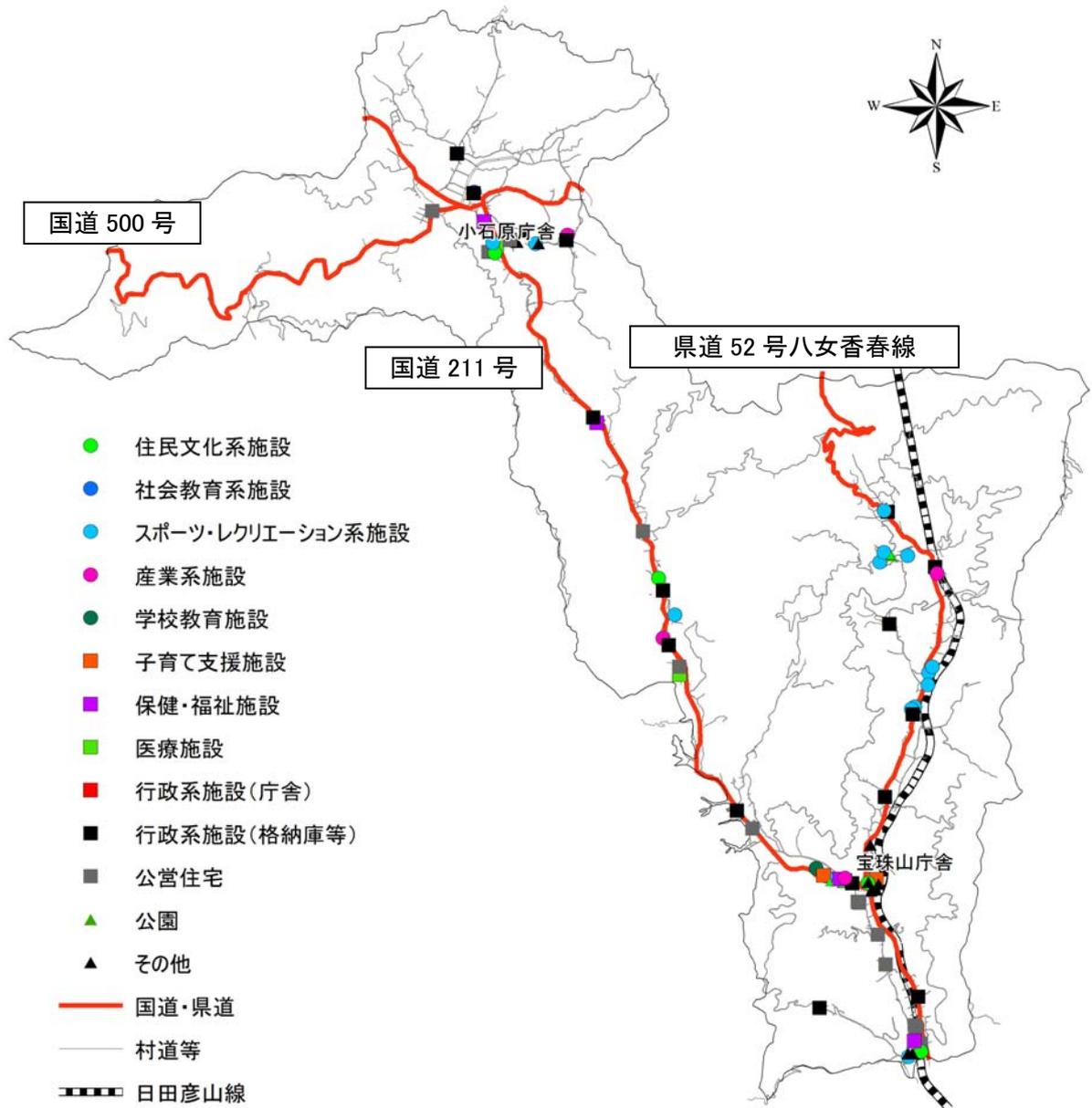


図 公共施設配置状況

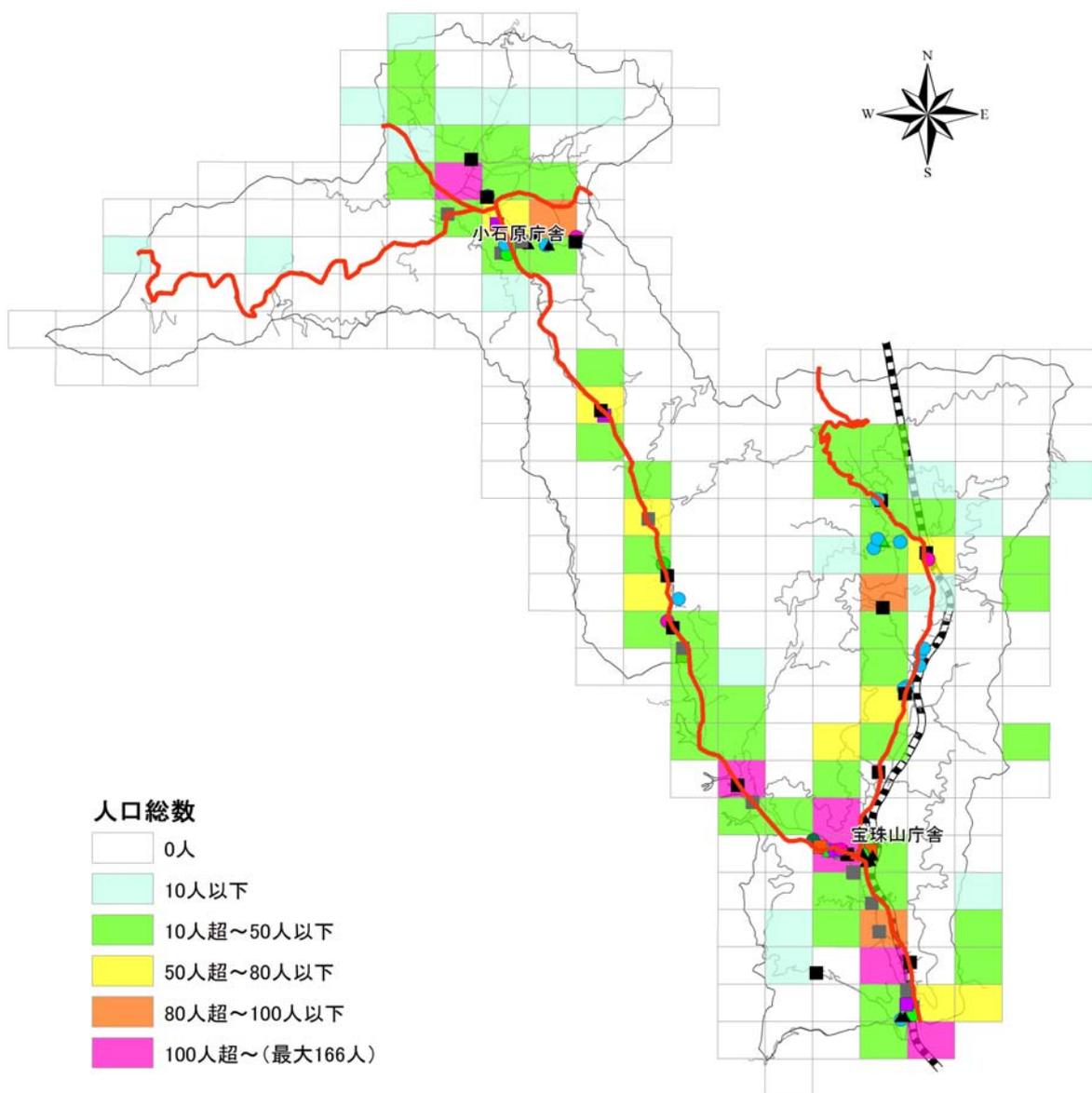


図 人口分布と公共施設の配備状況との関係

資料：国勢調査 500m 人口メッシュデータ(H22)

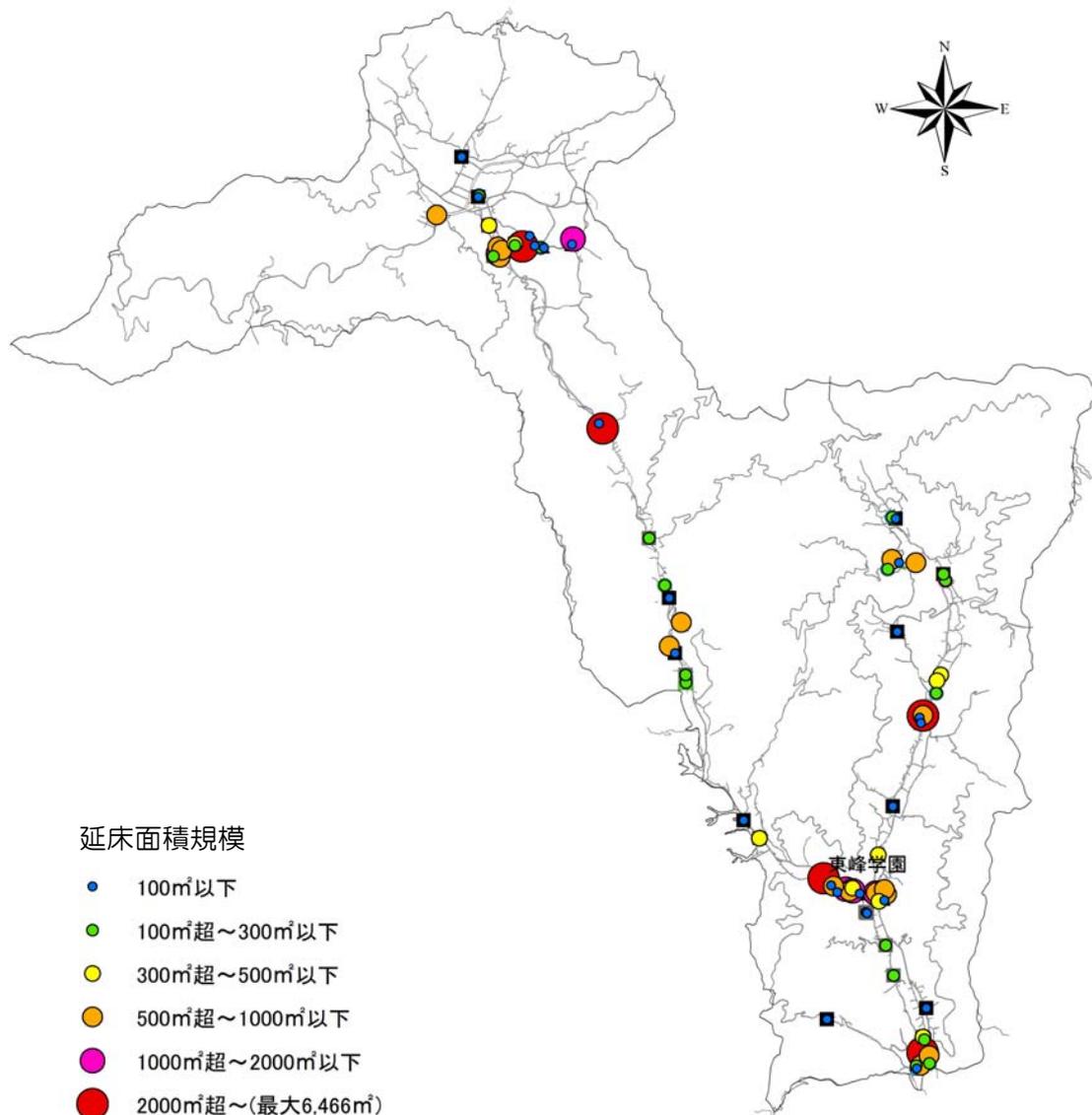


図 公共施設規模別配置状況

表 延床面積 上位 10 施設

名称	大分類	面積(㎡)
東峰学園	学校教育施設	6,466
旧宝珠山小学校	その他	4,384
旧小石原小学校	その他	3,974
特別養護老人ホーム「宝珠の郷」	保健・福祉施設	3,337
東峰村高齢者活動促進施設	保健・福祉施設	2,148
保健福祉センター	保健・福祉施設	1,909
東峰村役場小石原庁舎	行政系施設(庁舎)	1,865
東峰村村民センター	住民文化系施設	1,494
小石原焼伝統産業会館	産業系施設	1,124
東峰村役場宝珠山庁舎	行政系施設(庁舎)	1,027

(3) 築年別整備状況

築 30 年を経過している公共施設（建築物）の延床面積の合計は約 2.2 万㎡であり、全体の約 5 割を占めます。また、すべての社会教育系施設をはじめ、学校教育系施設の約 9 割、その他施設の約 8 割が築 30 年以上を経過しており、古い建物が多い状況となっています。10 年後にはさらに延床面積の合計の 25.1%である約 1.2 万㎡が築 30 年以上となり、建替え・大規模改修等が必要な施設が増えていきます。

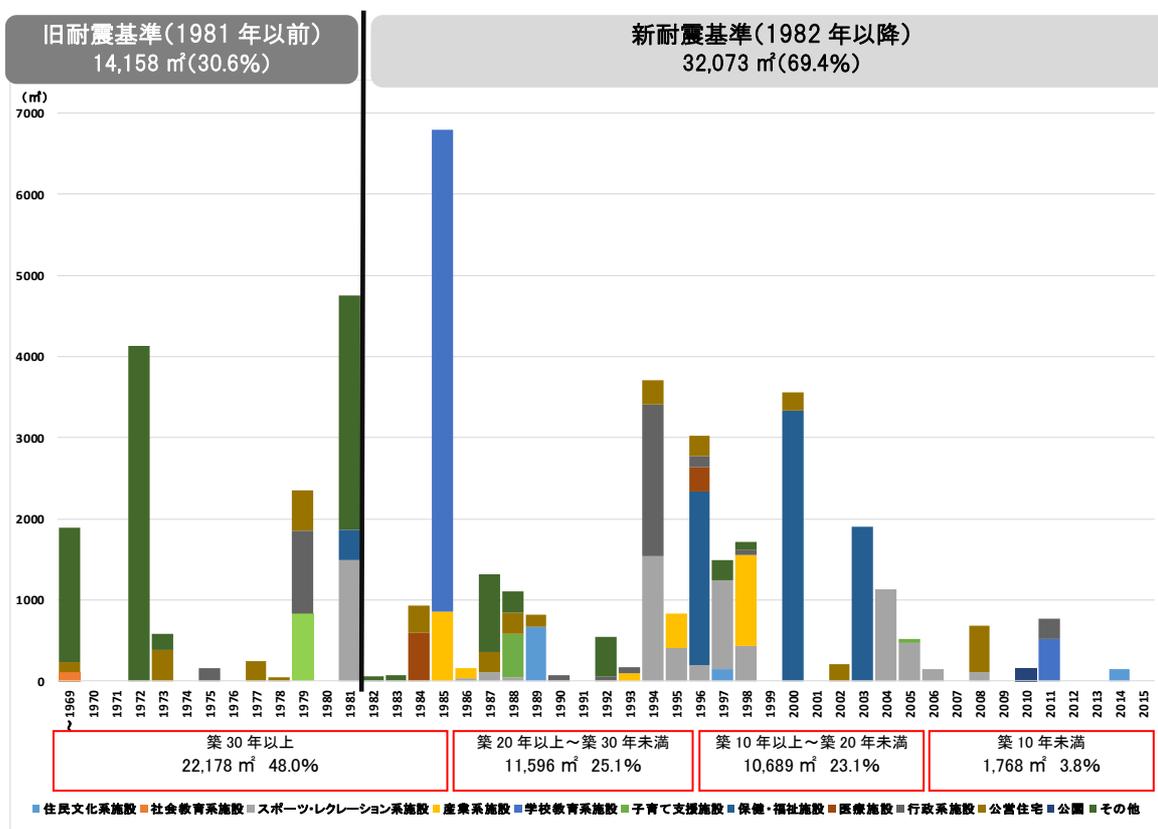


図 築年別延床面積

表 経過年数別延べ床面積(棟ベース)

(㎡)

大分類	築 30 年以上	築 30 年未満	合計	築 30 年以上割合
住民文化系施設	2,323	973	3,296	70.4%
社会教育系施設	107	0	107	100.0%
スポーツ・レクリエーション系施設	38	5,686	5,724	0.7%
産業系施設	980	1,647	2,627	37.3%
学校教育系施設	5,944	522	6,466	91.9%
子育て支援施設	0	592	592	0.0%
保健・福祉施設	372	7,394	7,766	4.7%
医療施設	593	290	883	67.2%
行政系施設	1,186	2,523	3,709	32.0%
公営住宅	1,632	2,204	3,836	42.5%
公園	0	165	165	0.0%
その他施設	9,003	2,057	11,060	81.4%
合計	22,178	24,053	46,231	48.0%

(4) 村民一人あたりの延床面積

本村の人口 2,174 人（平成 27 年国勢調査）で換算すると、人口一人あたりの公共施設床面積は 21.27 m²/人となり、国の平均 3.75 m²/人及び福岡県内自治体平均の 4.20 m²/人を大きく上回っています。

今後、現状の施設規模を維持したままで人口が減少し、人口ビジョンによる 2060 年推計値 1,294 人となった場合は、35.73 m²/人となります。

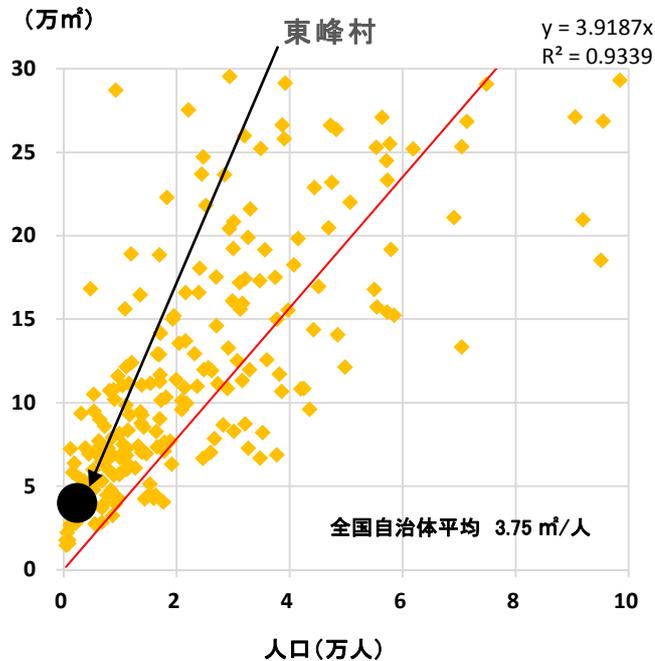


図 全国の自治体別の施設量（延床面積）と総人口の関係

※平成 24 年総務省公表データにより再集計

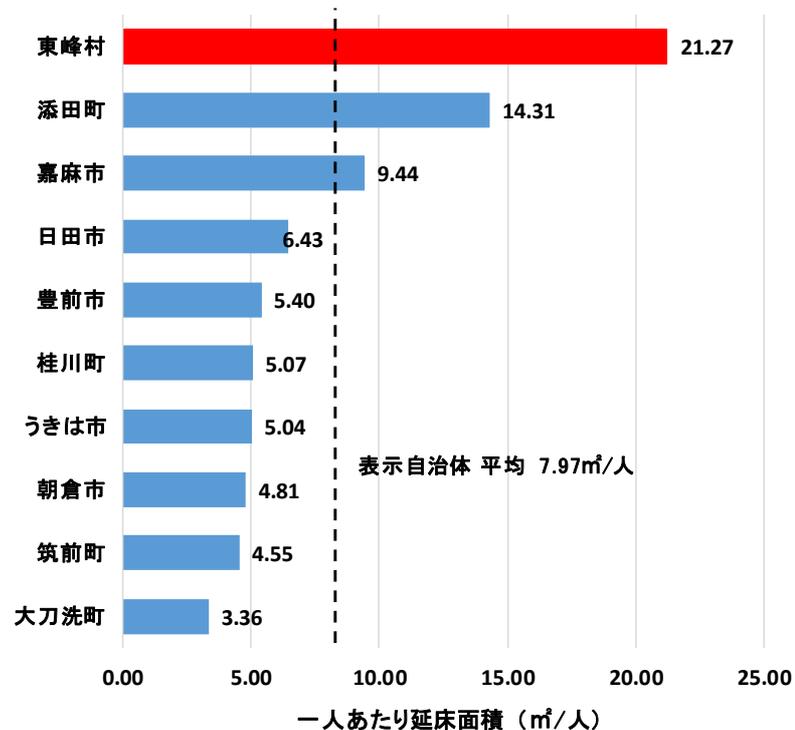


図 村近隣自治体における住民一人あたりの公共施設保有量

※平成 24 年総務省公表データにより再集計

第4章 公共施設カルテ

本村の公共施設について、施設の基本情報や所管課へのヒアリング結果等をもとに、公共施設カルテを整理しました。

対象とした施設の一覧は以下に示すとおりです。

表 公共施設カルテ施設一覧

NO.	施設名	NO.	施設名
1	宝珠山基幹集落センター	39	古城原格納庫
2	東峰村村民センター	40	中原格納庫
3	小石原基幹集落センター	41	栗林格納庫
4	宝珠山駅舎(福井コミュニティセンター)	42	消防団鶴格納庫(2-1)
5	鼓地区集会施設 せせらぎ鼓	43	消防団皿山格納庫(1-2)
6	愛林学荘	44	消防団蔵貫格納庫(2-2)
7	村民グラウンド管理棟	45	消防団奥畑格納庫(1-3)
8	弓道場	46	筑前岩屋駅・消防団岩屋格納庫(4-2)
9	岩屋キャンプ場	47	消防団上町格納庫(1-1)
10	岩屋公園	48	消防団大行司格納庫(3-1)
11	親水公園	49	消防団今桑格納庫(2-3)
12	体験交流センター	50	消防団紙屋格納庫(3-3)
13	山村広場	51	村営住宅下郷団地
14	鼓の里公園研修センター(ポーン太の森)	52	村営住宅小石原団地
15	陶の里館	53	村営住宅黒谷団地
16	ほうしゅ楽舎	54	村営住宅合坂団地
17	土と緑の体験交流施設	55	村営住宅南の原団地
18	山村文化交流の郷 いぶき館	56	村営住宅延田団地
19	竹棚田交流館	57	村営住宅山ノ神団地
20	ほたる館	58	村営住宅紙屋団地
21	鼓の里産業センター	59	特定公共賃貸住宅今道団地
22	特産物加工施設	60	特定公共賃貸住宅猿喰第2団地
23	林業総合センター	61	特定公共賃貸住宅紙屋団地
24	小石原焼伝統産業会館	62	一般住宅下郷住宅(旧教職員住宅)
25	東峰学園	63	一般住宅猿喰住宅
26	美星保育所	64	宝珠山村役場(旧)
27	東峰村児童文学館	65	旧保育所
28	東峰村高齢者コミュニティセンター	66	大行司駅舎
29	東峰村高齢者活動促進施設(喜楽来館)	67	旧宝珠山小学校
30	特別養護老人ホーム(宝珠の郷)	68	旧宝珠山中学校
31	保健福祉センター(いづみ館)	69	小石原教員住宅
32	東峰村立診療所	70	旧小石原小学校
33	東峰村立鼓診療所・小石原歯科診療所	71	除雪車格納庫1
34	東峰村役場宝珠山庁舎	72	除雪車格納庫2
35	東峰村役場小石原庁舎	73	古城原倉庫(旧工場)
36	消防団上福井格納庫(3-2)	74	下請共同作業所
37	消防団千代丸格納庫(4-1)	75	旧宝珠山診療所
38	消防団竹格納庫(4-3)	76	岩屋公園管理棟 (公園施設)

東峰村公共施設カルテ

東峰村

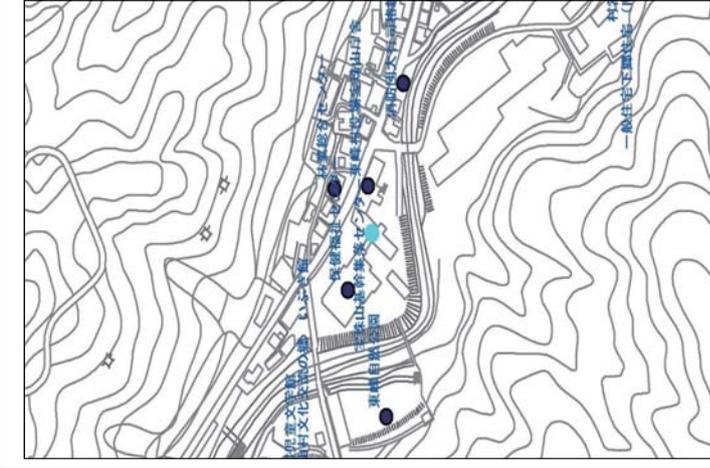
1

施設名称：宝珠山基幹集落センター

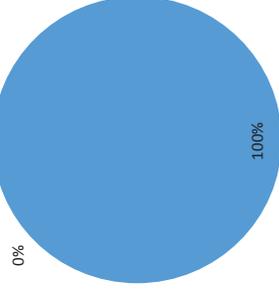
全体写真

位置図

大分類	住民文化系施設	中分類	集会所	所管課	教育課
所在地	宝珠山6425				
総延床面積	敷地面積	m ²		合計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有		総合施設区分
運営方法	直営	正職員	4	人	正職員以外
	年間利用者数	住宅		学校	
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
	A：収入合計(円)	33,063	E：指定期間管理料(円)		学級数
	B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	3,094,774	F：収支(経常)(A-B-D)		
	C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		G：総収支(A-B-C-D-E)		
	D：人件費(円)	37,418,000			
	a：利用1人当り(経常)コスト B/年間利用者数				
	b：床面積当り(経常)コスト B/延床面積	3,733			
	c：(経常)コストに占める使用料等収入の割合 A/B	40.512/774			
	d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E	48,869			
	e：床面積当り(経常+臨時)コスト (d+C)/床面積				



平成26年度 経常・臨時支出比率



コスト指標	3,733
40.512/774	
48,869	
利便性	A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
建築物劣化状況	A 目立った破損・外傷はない
法定点検・調査等	A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い
消防設備等	A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
設備の劣化状況	B 細かい不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
除却要望	-
備考	-

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	集会所	1979	37	829m ²	RC	1	未実施	未実施	●	x	●	●	●	●	●	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

東峰村公共施設カルテ

東峰村民センター

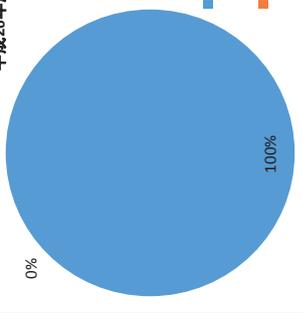
東峰村

2

施設名称	東峰村民センター			
大分類	住民文化系施設	集合施設	所管課	教育課
所在地	宝珠山27-2			
総延床面積	1,494 m ²	敷地面積	m ²	会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外
年間利用者数	住宅			
利用状況	5,993	総戸数	入居戸数	空室戸数
				定員
				児童生徒数
				学級数
平成26年度経常・臨時支出比率	A: 収入合計(円)	37,075	E: 指定管理料(円)	
	B: 支出合計(人件費を除く)(円)	1,980,254	F: 収支【経常】(A-B-D)	-1,943,179
	C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		G: 総収支(A-B-C-D-E)	-1,943,179
	D: 人件費(円)			
コスト	a: 利用1人当り【経常】コスト	B/年間利用者数		330
指標	b: 床面積当り【経常】コスト	B/延床面積		1,325
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合	A/B		1,980,254
	d: 臨時的経費を除く総コスト	B+D+E		1,325
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト	(d+C)/床面積		
利便性	A: 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある			
被災の危険性	D: ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある			
建物劣化状況	B: 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない			
法定点検・調査等	A: 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い			
消防設備等	A: 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる			
設備の劣化状況	B: 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない			
除却要望	-			
備考	-			



平成26年度 経常・臨時支出比率



■ B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)
■ C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)

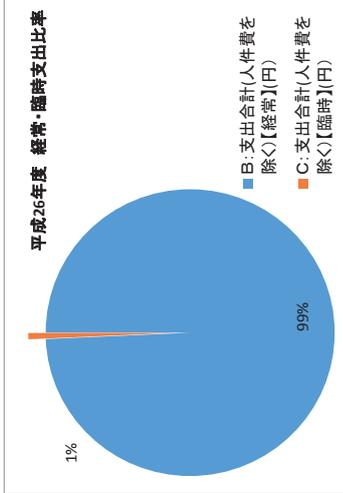
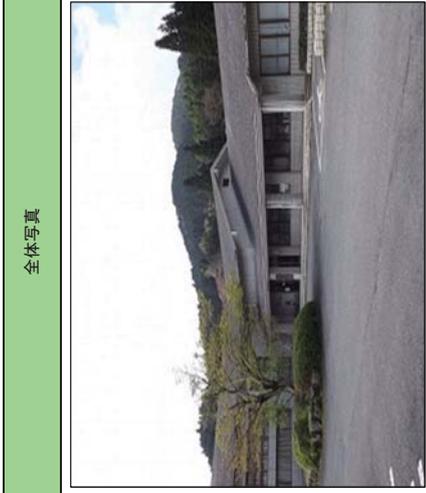


全体写真 位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	集会所	1981	35	1,494m ²	RC	1	未実施	未実施	●	x	x	●	x	●	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：小石原基幹集落センター		集会所		教育課	
大分類	住民文化系施設	中分類	集会所	所管課	教育課
所在地	小石原941-9				
総延床面積	677 m ²	敷地面積	m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	1 人
年間利用者数		住宅		学校	
利用状況		総戸数	入居戸数	空室戸数	定員
			52,300	E : 指 定 管 理 料 (円)	児童生徒数
A : 収入合計 (円)	52,300	F : 収 支 【 経 常 】 (A - B - D)			学級数
B : 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	2,756,575	G : 総 収 支 (A - B - C - D - E)			
C : 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	19,440				
D : 人 件 費 (円)	1,200,000				
a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数					
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	4,072				
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	3,956,575				
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	5,873				
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					
利便性	A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある				
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある				
建物劣化状況	A 目立った破損・外傷はない				
法定点検・調査等	A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い				
消防設備等	A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる				
設備の劣化状況	B 細かい不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない				
除却要望	-				
備 考	-				



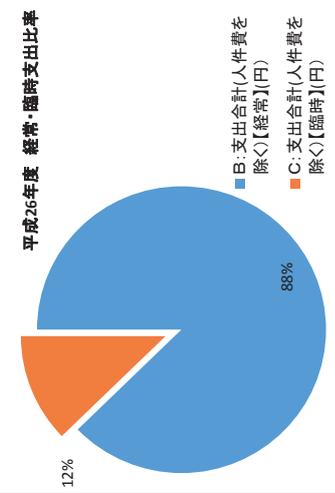
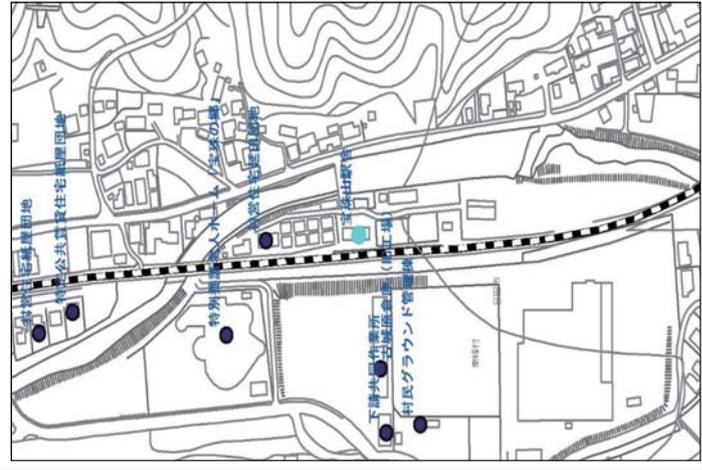
棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	集会所	1989	27	677m ²	RC	1	不要	不要	●	x	●	●	●	●	●	利用検討
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：宝珠山駅舎(福井コミュニティセンター)

全体写真

位置図



大分類	住民文化系施設	中分類	文化施設	所管課	総務課
所在地	福井926-2、926-7				普通会計
総延床面積	148 m ²	敷地面積	5,799 m ²	会計	単独
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	人
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅				学校
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A: 収入合計 (円)	9,300	E: 指定管理料 (円)			学級数
B: 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	509,941	F: 収支【経常】(A-B-D)			
C: 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	71,280	G: 総収支(A-B-C-D-E)			
D: 人件費 (円)					

コスト	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	3,446
指標	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	509,941
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	3,927
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない

法定点検・調査等 D 実施についてはわからない

消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる

設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない

除却要望 -

備考

棟番号	棟名	棟年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	福井コミュニティセンター	1997	19	148 m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	●	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設内建物諸元

施設名称： 就地区集会所施設 せせらぎ館

大分類	住民文化系施設	中分類	集会所施設	所管課	総務課
所在地	小石原1697-1				
総延床面積	148 m ²	敷地面積	372 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
利用状況	年間利用者数	住宅		学校	
	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	480	E：指定期間管理料(円)			学級数
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	10,996	F：収支【経常】(A-B-D)			
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	1,319,496	G：総収支(A-B-C-D-E)			-1,330,012
D：人件費(円)					
a：利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数					
b：床面積当り【経常】コスト B/延床面積					74
c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B					
d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E					10,996
e：床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					8,990

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない

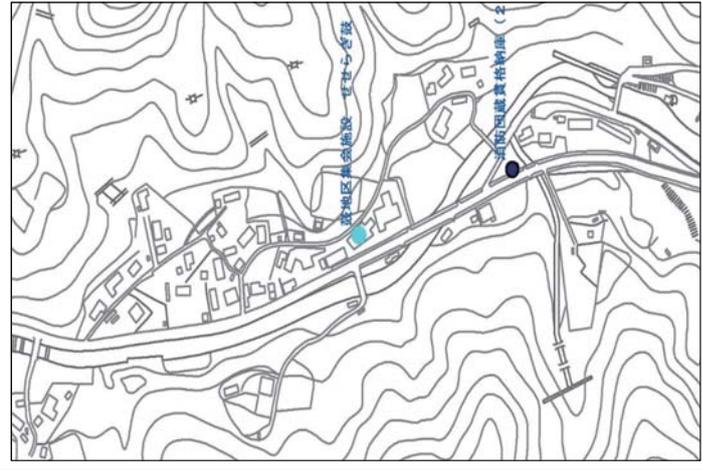
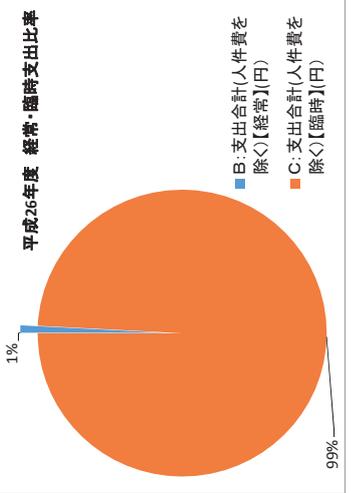
法定点検調査等 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い

消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる

設備の劣化状況 A 目立った不具合はない

除却要望 A 目立った不具合はない

備考
H26年度開設



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	集会所	2014	2	148 m ²	W	1	実施済	実施済	●	x	●	●	x	●	●	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

東峰村公共施設カルテ

東峰村

6

施設名称：愛林学荘

大分類	社会文化系施設	中分類	博物館等	所管課	教育課
所在地	小石原618				
総延床面積	107㎡	敷地面積	8,022㎡	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数 学級数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)				
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	G：総 収 支 (A - B - C - D - E)				
D：人 件 費 (円)					
a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	194				
b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	194				
c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	20,736				
d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	194				
e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					

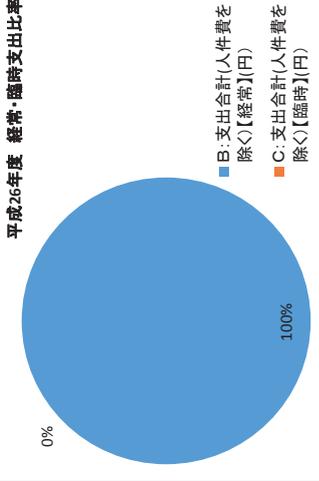
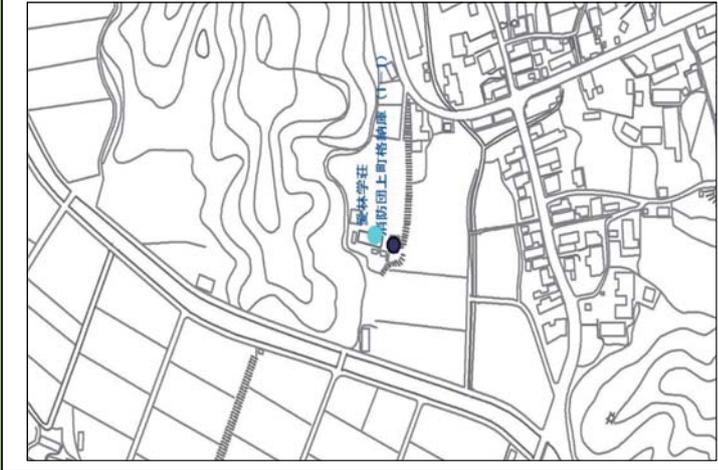
利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検、調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない
 消防設備等 D 消防点検を行っていない、または記録が残っていない
 設備の劣化状況 C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ
 除却要望 C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ
 現在、文化財取蔵施設

備考
除却の希望がある

全体写真



位置図



棟番号	棟名	棟年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	その他	1946	70	107㎡	W	1	未実施	未実施	X	X	X	X	X	X	X	要早急対応
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

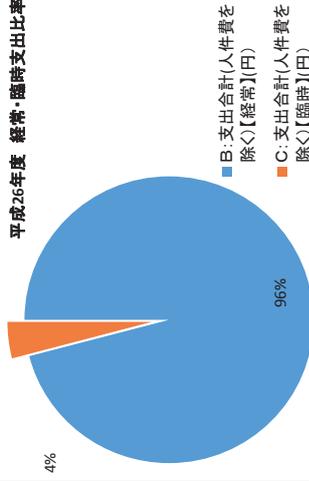
<MEMO>

施設名称：村民グラウンド管理棟

大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	スポーツ施設	所管課	教育課
所在地	福井950-11他9筆				
総延床面積	敷地面積	84㎡	あり	合計	普通会計
施設保有状況	所有	あり	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	あり	正職員以外	人	人
年間利用者数	年間利用者数	10,981	住宅	学校	学級数
利用状況	総戸数	10,981	入居戸数	空室戸数	児童生徒数
A：収入合計(円)	71,700	E：指定期間管理料(円)			
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	2,623,541	F：収支【経常】(A-B-D)			-2,551,841
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	111,812	G：総収支(A-B-C-D-E)			-2,663,653
D：人件費(円)					

平成26年度コスト状況	年間利用者数	239
a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	年間利用者数	239
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	延床面積	31,233
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B		
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E		2,623,541
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積		32,564

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない
 消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 -



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	休憩所、ロッヂ	1986	30	38㎡	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	管理事務所	1988	28	12㎡	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
3	倉庫	1988	28	34㎡	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：弓道場

大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	スポーツ施設	所管課	総務課
所在地	宝珠山2272				
総延床面積	93 m ²	敷地面積	m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)				E：指 定 管 理 料 (円)	学級数
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	15,417			F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)	
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)				G：総 収 支 (A - B - C - D - E)	-15,417
D：人 件 費 (円)					

平成26年コスト状況	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	166
	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	166
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	15,417
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	166
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	166

利便性 D 自動車を利用しない限り利用するのが困難な場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない

法定点検・調査等 D 実施についてはわからない

消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる

設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない

除却要望 -

備 考 -

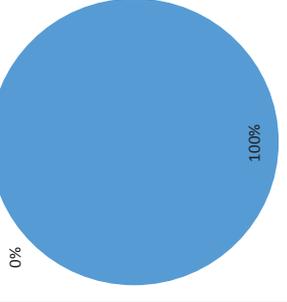
全体写真



位置図



平成26年度 経常・臨時支出比率



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	武道館	1987	29	93m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

東峰村公施設カルテ

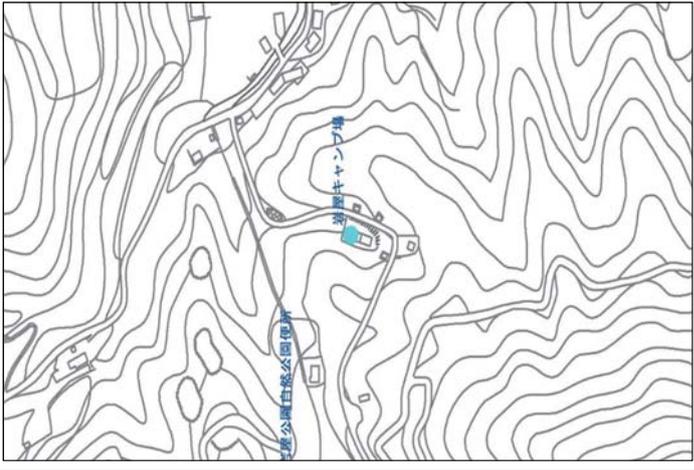
東峰村

9

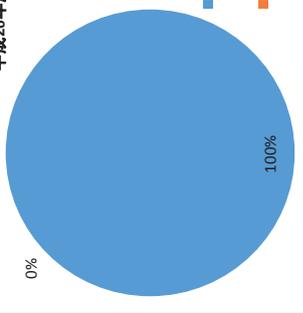
施設名称：岩屋キャンプ場		中分類		所管課		企画政策課		
大分類	スポーツレクリエーション施設	レクリエーション・観光施設						
所在地	宝珠山4171		宝珠山4171		宝珠山4171		宝珠山4171	
総延床面積	762 m ²	敷地面積	m ²		m ²		普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有		所有		併設	
運営方法	直営	正職員	人		正職員以外		人	
年間利用者数	3,034		住宅		学校			
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数	学級数		
A：収入合計(円)			E：指 定 管 理 料 (円)					
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	87,500		F：収 支【経常】(A-B-D)		-87,500			
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)			G：総 収 支 (A-B-C-D-E)		-87,500			
D：人 件 費 (円)								
コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数		29					
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積		115					
利便性	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B		87,500					
被災の危険性	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E		115					
建物劣化状況	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積							
法定点検・調査等	D 自動車を利用しない限り利用するのが困難な場所にある							
消防設備等	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある							
設備の劣化状況	B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結びつく可能性は少ない							
除却要望	A 法定点検や劣化診断を実施している特に問題は無い							
備 考	A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる							
	B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結びつく可能性は少ない							



全体写真



位置図



平成26年度 経常・臨時支出比率

- B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)
- C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)

棟番号	棟名	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	管理棟	1994	93m ²	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	維持保全
2	バンガロー	1994	141m ²	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
3	バンガロー	1994	141m ²	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
4	バンガロー	1994	141m ²	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
5	バンガロー	1996	39m ²	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
6	バンガロー	1996	39m ²	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
7	バンガロー	1995	41m ²	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
8	バンガロー	1995	41m ²	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
9	倉庫棟	1996	19m ²	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
10	シャワー室	1995	67m ²	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
11															
12															
13															

<MEMO>

東峰村公共施設カルテ

東峰村

10

施設名称：岩屋公園

大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	レクリエーション・観光施設	所管課	企画政策課
所在地	宝珠山4159-2				
総延床面積	506㎡	敷地面積	16,992㎡	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F：収 支【経常】(A-B-D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G：総 収 支 (A-B-C-D-E)				
D：人 件 費 (円)					
コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数				
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	308			
指標	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	155,860			
指標	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	308			
指標	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積				

利便性 D 自動車を利用しない限り利用するのが困難な場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結びつく可能性は少ない

法定点検・調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない

消防設備等 - 未判定

設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結びつく可能性は少ない

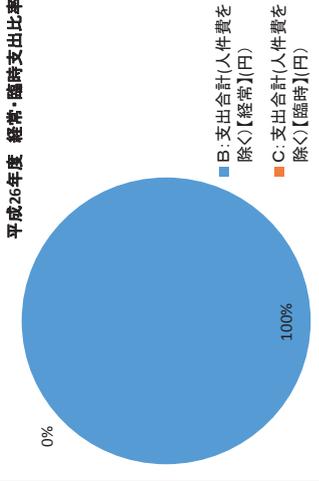
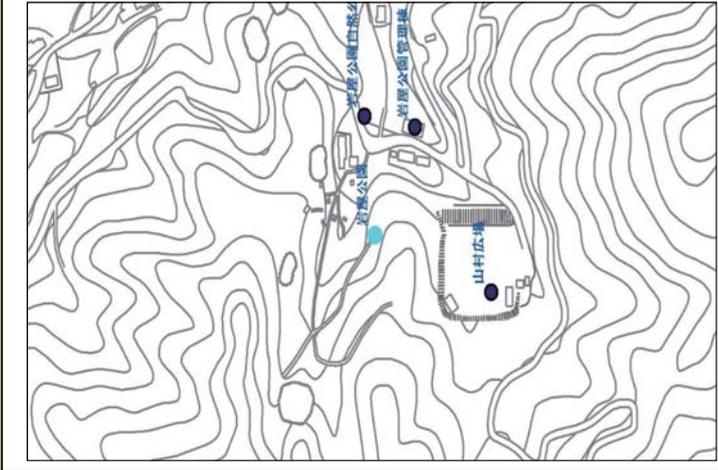
除却要望 -

備 考 -

全体写真



位置図



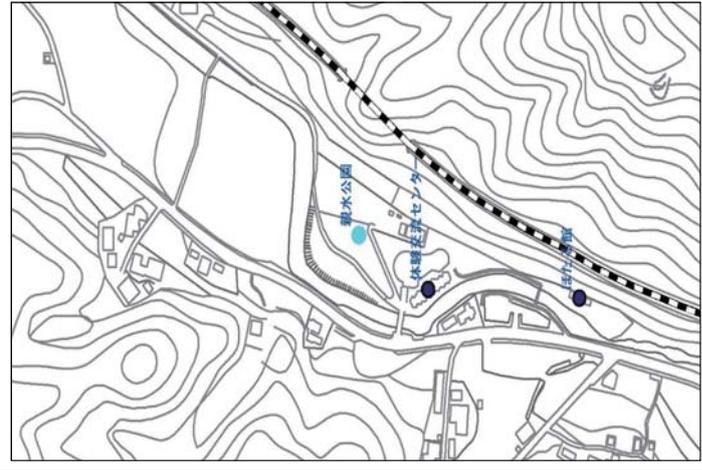
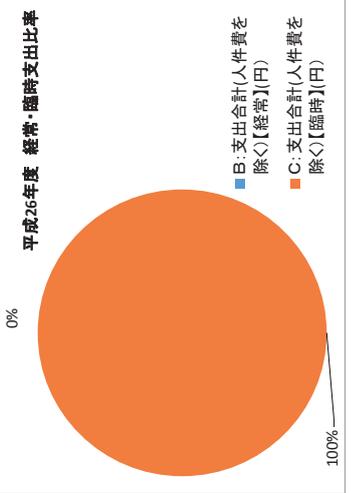
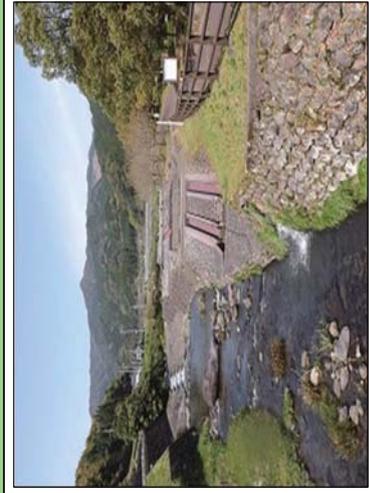
棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	コテージ	1994	22	152㎡	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	維持保全
2	コテージ	1995	21	82㎡	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
3	シャワー室	1995	21	68㎡	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
4	コテージ	1996	20	79㎡	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
5	倉庫	1996	20	20㎡	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
6	林内作業場	1995	21	34㎡	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
7	自然公園休憩所	1995	21	52㎡	W	1	不要	不要	●	×	×	×	×	×	×	
8	自然公園便所	1995	21	19㎡	W	1	不要	不要	●	×	●	●	×	●	×	
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：親水公園

大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	レクリエーション・観光施設	所管課	企画政策課
所在地	宝珠山3104-1				
総延床面積	敷地面積	10,131 m ²	合計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
3,034	3,034				学校
利用状況	A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)	F：収 支【経 常】(A-B-D)	G：総 収 入 (A-B-C-D-E)	学級数
	4,000,000				
平成26年コスト状況	B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	D：人 件 費 (円)		
	165,600				-4,165,600
	a：利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	b：床面積当り【経常】コスト B/延床面積	c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E	e：床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積
				4,000,000	9,648

利便性 D 自動車を利用しない限り利用するのが困難な場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い
 消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 -



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	体験交流センター	1994	22	350m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	維持保全
2	シャワー室	1994	22	70m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	
3	水車小屋	1994	22	12m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：体験交流センター

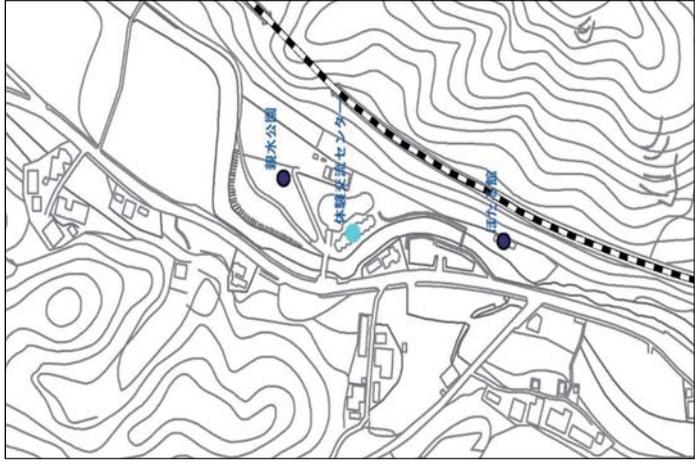
大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	レクリエーション・観光施設	所管課	企画政策課
所在地	宝珠山3102				
総延床面積	329 ㎡	敷地面積	1,463 ㎡	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)				
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	G：総 収 支 (A - B - C - D - E)				
D：人 件 費 (円)					

平成26年度コスト状況	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	385
	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	385
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	126,555
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	385
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	385

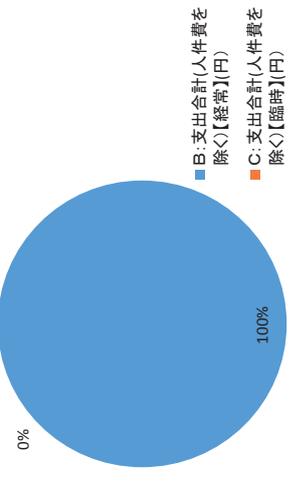
利便性 D 自動車を利用しない限り利用するのが困難な場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い
 消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -

備考 -

全体写真



平成26年度 経常・臨時支出比率



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	体験交流センター	1994	22	329㎡	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：山村広場

大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	レクリエーション・観光施設	所管課	企画政策課
所在地	宝珠山4139-3				
総延床面積	129 ㎡	敷地面積	8,165 ㎡	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数 学級数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)				
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	G：総 収 支 (A - B - C - D - E)				
D：人 件 費 (円)					

コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	1,240
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	160.316
	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	1,240
	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	
	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	

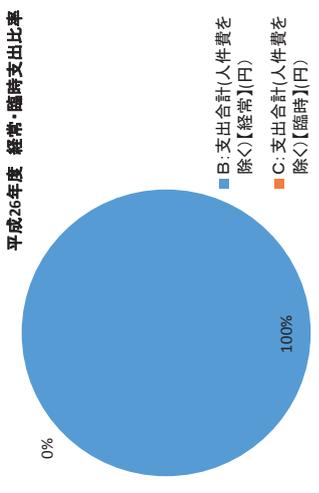
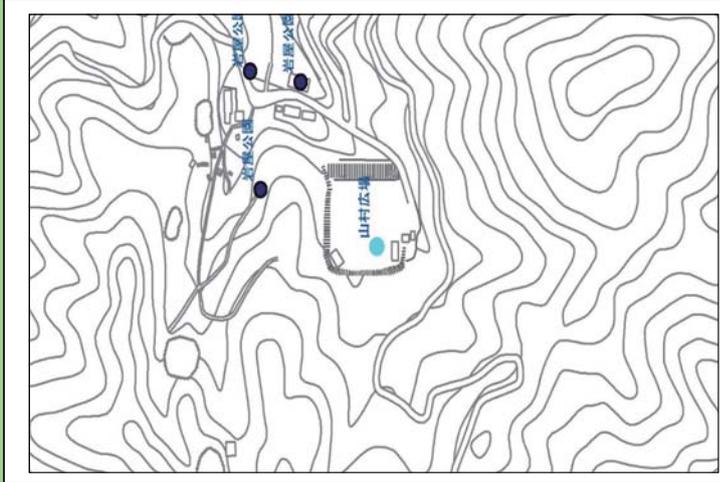
利便性 D 自動車を利用しない限り利用するのが困難な場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -

備考	-
----	---

全体写真



位置図

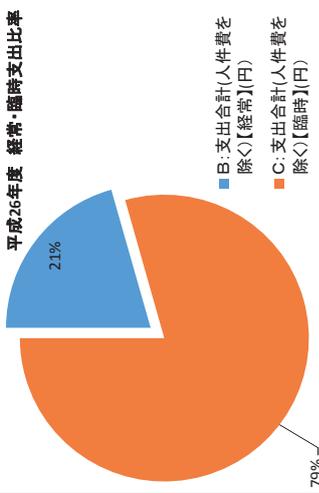


棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	便所	1987	29	16㎡	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	野外ステージ	1994	22	113㎡	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称： 鼓の里公園研修センター（ポーン太の森）

大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	レクリエーション・観光施設	所管課	企画政策課
所在地	小石原畷1611-1-他53筆				
総延床面積	925 m ²	敷地面積	3,861 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計（円）	E：指 定 管 理 料（円）				
B：支出合計（人件費を除く）【経常】（円）	F：収 支【経常】（A-B-D）				
C：支出合計（人件費を除く）【臨時】（円）	G：総 収 支（A-B-C-D-E）				
D：人 件 費（円）					
平成26年コスト状況	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数				
	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	290			
	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	493.574			
	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	1,651			
	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積				



全体写真



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	研修センター	1997	19	457m ²	W	2	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	維持保全
2	炊飯棟	1997	19	36m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
3	宿泊棟	1998	18	45m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
4	宿泊棟	1998	18	45m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
5	宿泊棟	1998	18	45m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
6	宿泊棟	1998	18	45m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
7	宿泊棟	1998	18	45m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
8	宿泊棟	1998	18	47m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
9	宿泊棟	1998	18	47m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
10	宿泊棟	1998	18	47m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
11	宿泊棟	1998	18	47m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
12	便所	1998	18	10m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	
13	便所	1998	18	10m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	

<MEMO>

施設名称：陶の里館

大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	レクリエーション・観光施設	所管課	企画政策課
所在地	小石原941-3				
総延床面積	602 m ²	敷地面積	m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数 学級数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)				
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	G：総 収 支 (A - B - C - D - E)				
D：人 件 費 (円)					
コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数				
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積				
コスト	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B				
指標	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E				
コスト	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積				

平成26年度 経常・臨時支出比率

■ B:支出合計(人件費を除く)【経常】(円)
■ C:支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない

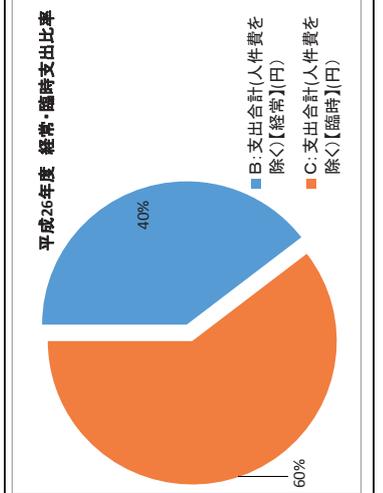
法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施しているため、正常に作動すると考えられる

消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、故障や事故に結び付く可能性は少ない

設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない

除却要望 -

備考 -



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	陶の里館	1997	19	602 m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	●	●	●	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：ほうしゆ養舎

大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	保養施設	所管課	企画政策課
所在地	宝珠山2272				
総延床面積	686 m ²	敷地面積	3,009 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	4,063	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員
					児童生徒数
					学級数

A : 収入合計 (円)		E : 指定管理料 (円)	
B : 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	145,040	F : 収支【経常】(A - B - D)	-145,040
C : 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)		G : 総収支 (A - B - C - D - E)	-145,040
D : 人件費 (円)			

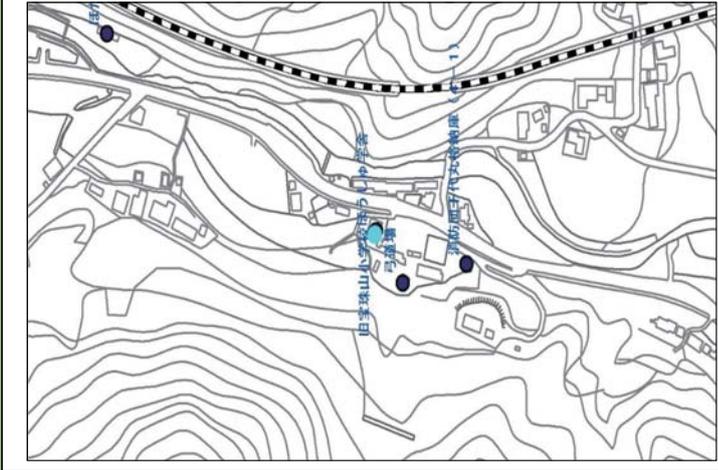
コスト	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数 36
指標	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積 211
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B 145,040
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E 211
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積

利便性 D 自動車を利用しない限り利用するのが困難な場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない
 法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い
 消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 A 目立った不具合はない
 除却要望 -
 備考 -

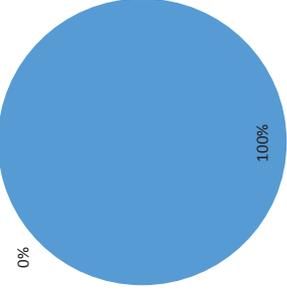
全体写真



位置図



平成26年度 経常・臨時支出比率



■ B: 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)
 ■ C: 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	保養所、宿泊所	2004	12	235m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	維持保全
2	研修所	2004	12	107m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
3	その他	2004	12	272m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
4	便所(棟)	2005	11	72m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	x	x	●	x	
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設内建物諸元

施設名称：土と緑の体験交流施設

全体写真

位置図

大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	レクリエーション・観光施設	所管課	企画政策課
所在地	小石原888-16				
総延床面積	275㎡	敷地面積	㎡	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
利用状況	年間利用者数	住宅			
	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	310,031	F：収 支【経常】(A-B-D)			
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	36,720	G：総 収 支 (A-B-C-D-E)			
D：人 件 費 (円)	-346,751				
コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数				
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積				
指標	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B				
指標	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E				
指標	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積				

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない

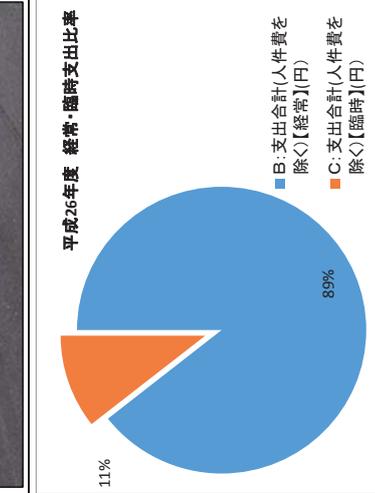
法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い

消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる

設備の劣化状況 A 目立った不具合はない

除却要望 -

備 考 -



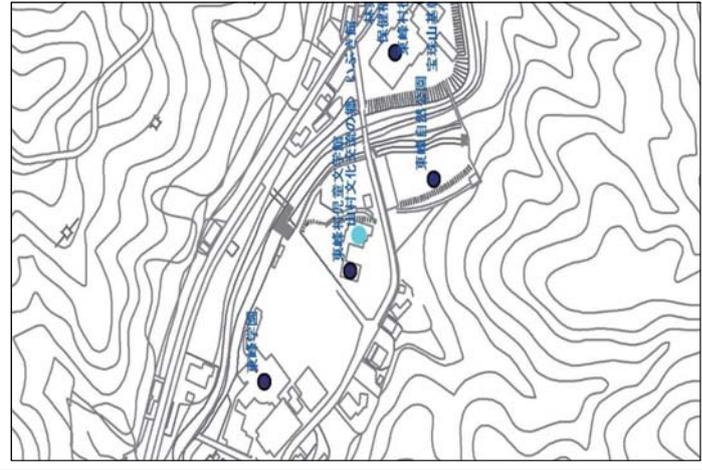
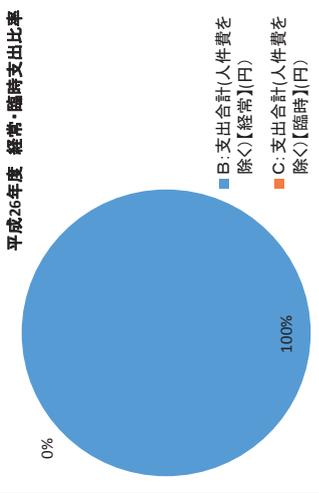
棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	体験交流施設	2004	12	192㎡	W	1	未実施	未実施	●	x	●	●	x	●	x	維持保全
2	トイレ・休憩施設	2004	12	83㎡	W	1	未実施	未実施	●	x	●	●	x	●	x	
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：山村文化交流の郷 いぶき館

大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	レクリエーション・観光施設	所管課	企画政策課
所在地	福井2296-1				
総延床面積	646 m ²	敷地面積	7,652 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	指定管理(使用料)	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	6,968	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員
					児童生徒数
					学級数
A: 収入合計(円)		E: 指定管理料(円)			8,000,000
B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	93,721	F: 収支【経常】(A-B-D)			-93,721
C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		G: 総収支(A-B-C-D-E)			-8,093,721
D: 人件費(円)					
a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	13				
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	145				
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	8,093,721				
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	12,529				
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					
利便性	A: 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある				
被災の危険性	D: ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある				
建築物劣化状況	A: 目立った破損・外傷はない				
法定点検・調査等	A: 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い				
消防設備等	A: 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる				
設備の劣化状況	A: 目立った不具合はない				
除却要望	-				
備考	-				



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	展示棟	2004	12	195m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	●	維持保全
2	文化館	2005	11	403m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	●	
3	トイレ	2004	12	48m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	●	
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：竹棚田交流館

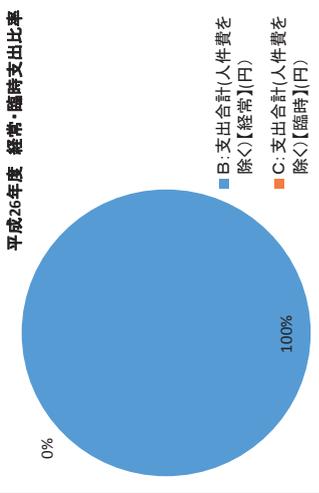
大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	レクリエーション・観光施設	所管課	農林観光課
所在地	宝来山5170-4				
総延床面積	150 ㎡	敷地面積	1,942 ㎡	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	7,970	E：指 定 管 理 料 (円)			学級数
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	104,499	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)			
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)		G：総 収 支 (A - B - C - D - E)			-96,529
D：人 件 費 (円)					-96,529

コスト	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	697
指標	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	697
指標	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	104,499
指標	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	697
指標	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	697

利便性 D 自動車を利用しない限り利用するのが困難な場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない
 法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い
 消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 A 目立った不具合はない
 除却要望 -

備考 -

全体写真



位置図



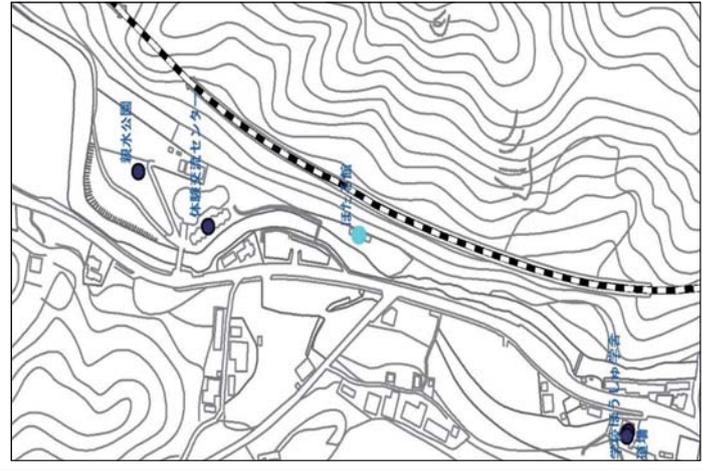
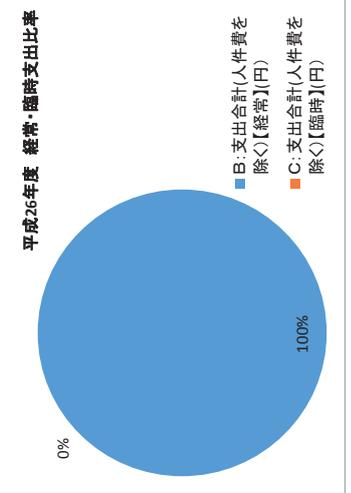
棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	竹棚田交流館	2006	10	150㎡	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	●	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：ぼたる館

大分類	スポーツレクリエーション施設	中分類	レクリエーション・観光施設	所管課	企画政策課
所在地	宝珠山3071				
総延床面積	105 m ²	敷地面積	m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(円)	F：収 支【経 常】(A - B - D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G：総 収 支 (A - B - C - D - E)				
D：人 件 費 (円)					

平成26年度経常・臨時支出比率	100%
コスト	150
指標	15,705
150	



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造
1	ぼたる館	2008	8	105m ²	W
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					

車椅子用エレベータ	x	車椅子用スロープ	●	自動ドア	x	手すり	●	点字ブロック	x	判定	維持保全
耐震診断	不要	耐震補強	不要	アスベスト	●	身障者用トイレ	●				
階段	1										

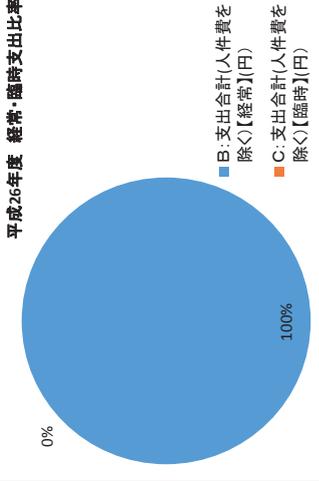
<MEMO>

施設名称： 鼓の里産業センター

大分類	産業系施設	中分類	産業系施設	所管課	企画政策課
所在地	小石原3492-1				
総延床面積	880 m ²	敷地面積	4,308 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	複合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数		住宅		学校	
利用状況		総戸数	入居戸数	空室戸数	定員
					児童生徒数
					学級数
A : 収入合計 (円)		E : 指定管理料 (円)			225,000
B : 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	166,081	F : 収支【経常】(A-B-D)			-166,081
C : 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)		G : 総収支(A-B-C-D-E)			-391,081
D : 人件費 (円)					

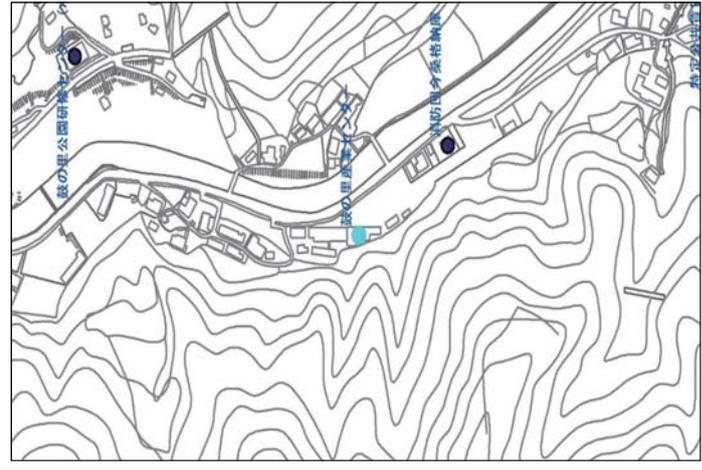
コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	189
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	
	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	391,081
	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	444
	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施しているため、正常に作動すると考えられる
 消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 -



全体写真

位置図



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	産業センター	1985	31	466m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	維持保全
2	共同作業所	1985	31	128m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	
3	観光会館	1985	31	76m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	
4	共同作業所	1985	31	72m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	
5	便所(棟)	1985	31	46m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	
6	会議室(棟)	1985	31	68m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	
7	便所	1995	21	25m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

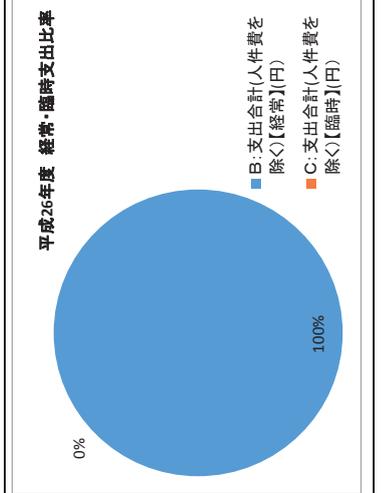
施設名称：特産物加工施設

大分類	産業系施設	中分類	産業系施設	所管課	総務課
所在地	宝珠山4031-5				
総延床面積	220 m ²	敷地面積	1,871 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	40,443 E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	3,652 F：収 支【経常】(A-B-D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	36,791 G：総 収 支 (A-B-C-D-E)				
D：人 件 費 (円)	36,791				
コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数				
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	17			
指 標	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	11			
利 便 性	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	3,652			
被 災 の 危 険 性	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	17			

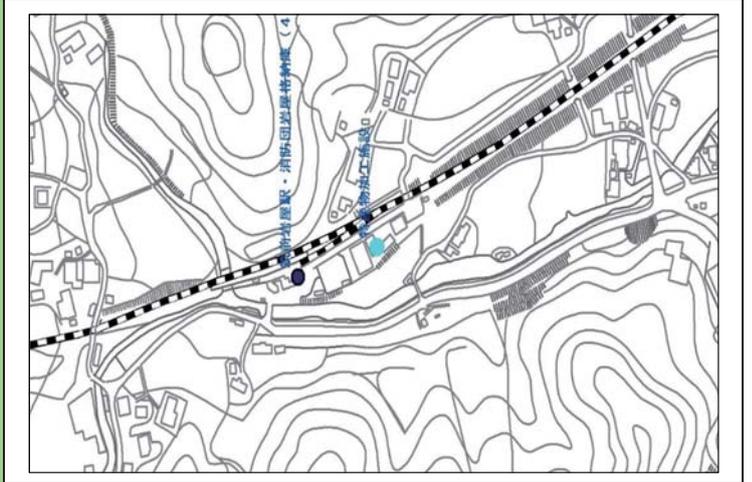
公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い
 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない

利 便 性	-				
考	-				

全体写真



位置図



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	共同作業所	1986	30	124m ²	S	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	共同作業所	1993	23	96m ²	S	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

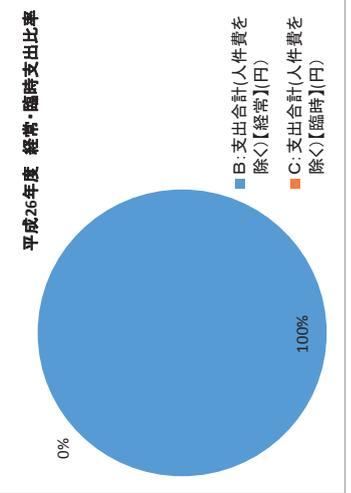
<MEMO>

施設名称：林業総合センター

大分類	産業系施設	中分類	産業系施設	所管課	総務課
所在地	宝珠山6410他1筆				
総延床面積	403 m ²	敷地面積	525 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員		人	正職員以外
年間利用者数		住宅		入居戸数	空室戸数
定員		児童生徒数		定員	管理料 (円)
A: 収入合計 (円)		E: 指定管理料 (円)			
B: 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	205,713	F: 収支【経常】(A-B-D)			-205,713
C: 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)		G: 総収支(A-B-C-D-E)			-205,713
D: 人件費 (円)					

コスト	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	511
指標	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	205,713
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	511
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施しているが、作動には問題ないと考えられる
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考

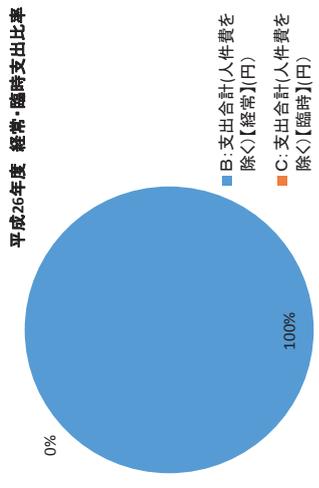


棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	センター	1995	21	403m ²	W	2	不要	不要	●	x	x	●	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：小石原焼伝統産業会館

大分類	産業系施設	中分類	産業系施設	所管課	企画政策課
所在地	小石原730-9、717-3				
総延床面積	1,124 m ²	敷地面積	20,768 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	指定管理(使用料)		正職員	人	正職員以外
年間利用者数	住宅		入居戸数	空室戸数	定員
利用状況	13,979	総戸数	児童生徒数	学級数	学級数
A: 収入合計(円)	E: 指定管理料(円) 8,130,000				
B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F: 収支【経常】(A-B-D) -120,329				
C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G: 総収支(A-B-C-D-E) -8,250,329				
D: 人件費(円)					
コスト	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数 9				
指標	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積 107				
コスト	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B 8,250,329				
指標	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E 7,342				
指標	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積				
利便性	B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある				
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある				
建物劣化状況	A 目立った破損・外傷はない				
法定点検・調査等	A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い				
消防設備等	A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる				
設備の劣化状況	B 微妙な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない				
除却要望	-				
備考	-				



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	小石原焼伝統産業会館	1998	18	1,124m ²	RC	1	不要	不要	●	x	●	●	●	●	●	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

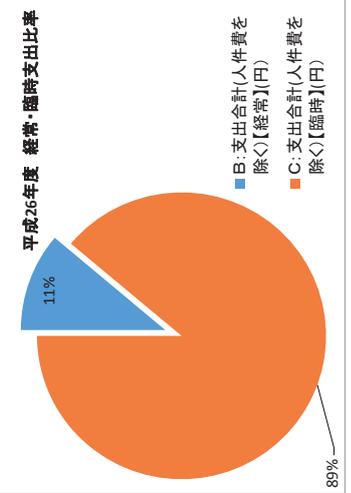
施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：美星保育所

大分類	子育て支援施設	中分類	幼保・こども園	所管課	保健福祉課
所在地	宝珠山31-6				
総延床面積	544 m ²	敷地面積	3,717 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	3人	正職員以外	3人
利用状況	年間利用者数	住宅			
	480	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員
A: 収入合計(円)	E: 指定管理料(円)				学級数
B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F: 収支【経常】(A-B-D)				
C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G: 総収支(A-B-C-D-E)				
D: 人件費(円)	27,678,626				
a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	5,689				
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	5,196				
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	30,505,470				
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	97,609				
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					

利便性 A: 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D: ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 A: 目立った破損・外傷はない
 法定点検・調査等 A: 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い
 消防設備等 A: 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 A: 目立った不具合はない
 除却要望 -
 備考 -



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	保育所	1988	28	544m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

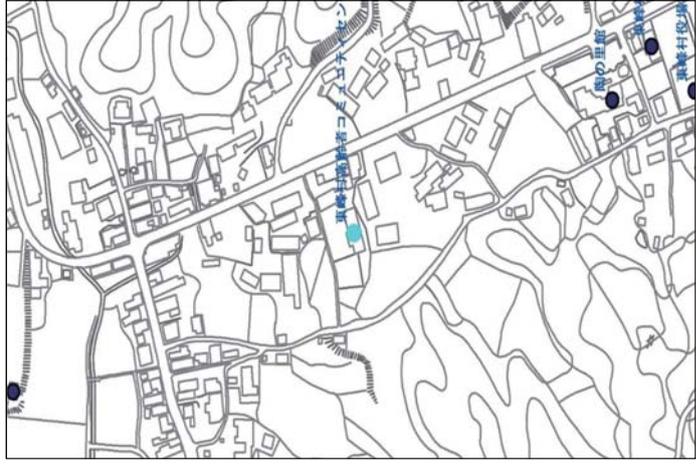
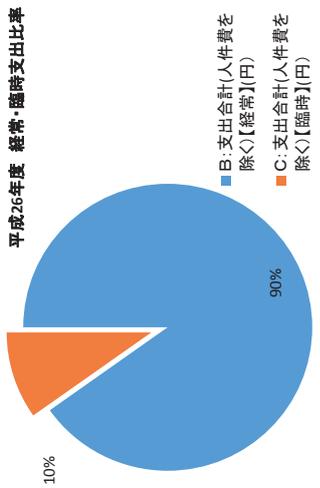
<MEMO>

施設名称：東峰村高齢者コミュニティセンター

全体写真

位置図

大分類	保健・福祉施設	高齢者施設	所管課	保健福祉課
所在地	小石原977-1			
総延床面積	敷地面積	1,470 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	借上	総合施設区分 単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外 人
利用状況	年間利用者数	住宅	入居戸数	空室戸数
			定員	児童生徒数
			E：指 定 管 理 料 (円)	学級数
A：収入合計(円)			F：収 支【経 常】(A - B - D)	
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	322,278		G：総 収 支 (A - B - C - D - E)	-322,278
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	35,100			-357,378
D：人 件 費 (円)				
a：利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数				
b：床面積当り【経常】コスト B/延床面積	866			
c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B				
d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E	322,278			
e：床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	960			



利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない

法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い

消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる

設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない

除却要望 除却の希望がある

備考 老朽化

棟番号	棟名	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	高齢者活動施設	1981	372 m ²	RC	1	不要	不要	●	x	●	●	x	●	x	要早急対応
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															

<MEMO>

施設名称：東峰村高齢者活動促進施設(喜楽来館)

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢者施設	所管課	保健福祉課
所在地	小石原2850他11筆				
総延床面積	敷地面積	4,539 m ²	合計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	
運営方法	指定管理(使用料)	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
利用状況	住宅 学校				

A: 収入合計(円)	E: 指 定 管 理 料 (円)	5,121,000
B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F: 収 支【経常】(A-B-D)	-84,409
C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G: 総 収 支 (A-B-C-D-E)	-5,205,409
D: 人 件 費 (円)		

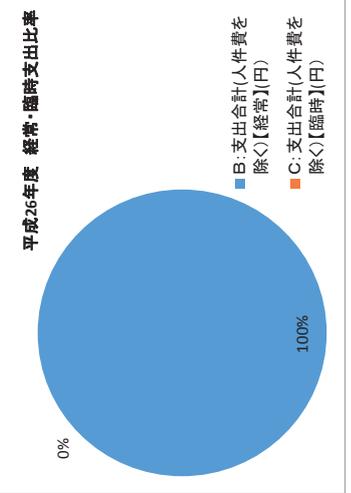
コスト	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	39
指標	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	5,205,409
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	2,423
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物の劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い
 消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造
1	高齢者活動施設	1996	20	1,294m ²	RC
2	倉庫	1996	20	77m ²	RC
3	渡廊下	1996	20	9m ²	RC
4	体育館	1996	20	768m ²	RC
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					

施設内建物諸元					
---------	--	--	--	--	--

全体写真



位置図



棟番号	棟名	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	高齢者活動施設	1996	1,294m ²	RC	2	不要	不要	●	×	●	●	×	●	×	維持保全
2	倉庫	1996	77m ²	RC	1	不要	不要	●	×	●	●	×	●	×	
3	渡廊下	1996	9m ²	RC	1	不要	不要	●	×	●	●	×	●	×	
4	体育館	1996	768m ²	RC	1	不要	不要	●	×	●	●	×	●	×	
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															

<MEMO>

施設名称：特別養護老人ホーム(宝珠の郷)

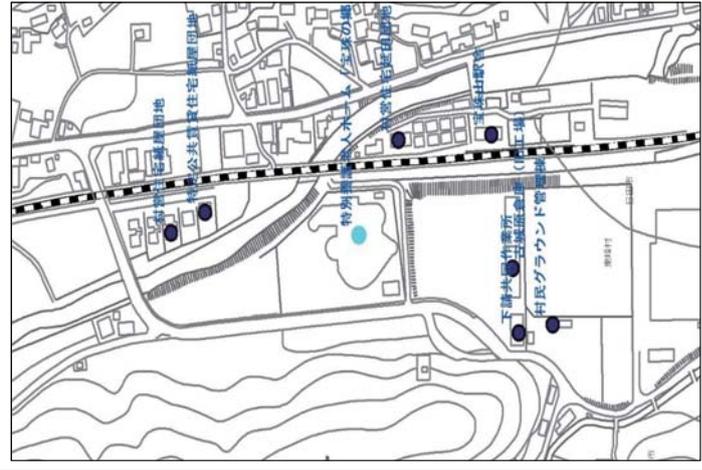
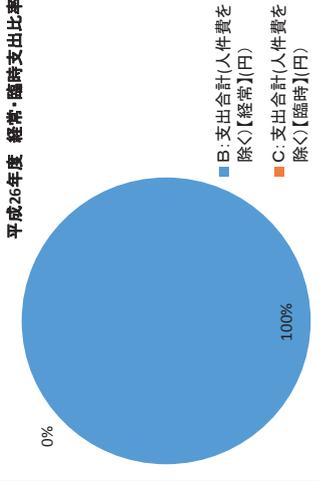
大分類	保健・福祉施設	高齢者施設	所管課	保健福祉課
所在地	福井942-1			
総延床面積	敷地面積	14,210 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外
年間利用者数	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員
利用状況	児童生徒数	学級数		

A：収入合計(円)	26,000	E：指 定 管 理 料 (円)	
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	145,345	F：収 支【経常】(A-B-D)	-119,345
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		G：総 収 支 (A-B-C-D-E)	-119,345
D：人 件 費 (円)			

a：利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	
b：床面積当り【経常】コスト B/延床面積	44
c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	
d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E	145,345
e：床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	44

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない
 法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い
 消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 A 目立った不具合はない
 除却要望 -
 備 考 -

全体写真



位置図

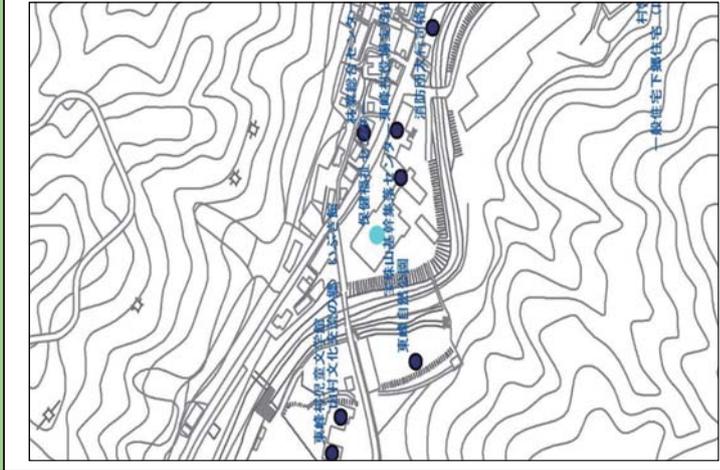
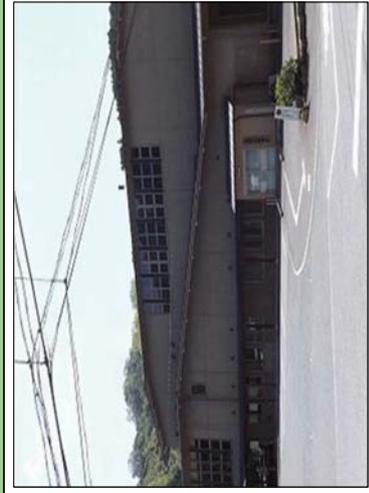
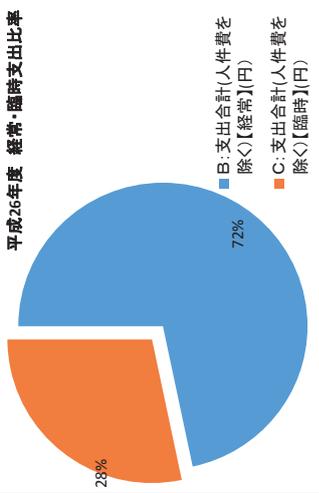
棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	特別養護老人ホーム	2000	16	3,337m ²	RC	1	不要	不要	●	●	●	●	●	●	●	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：保健福祉センター(いずみ館)

大分類	保健・福祉施設	中分類	保健施設	所管課	保健福祉課
所在地	宝珠山6431-1				
総延床面積	1,909 m ²	敷地面積	5,226 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	4	正職員以外	4
年間利用者数	9,425				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
	9,425	2,528,299	E: 指定管理料 (円)		学級数
A: 収入合計 (円)	14,738,140	F: 収支【経常】(A-B-D)			-19,845,479
B: 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	5,819,664	G: 総収支(A-B-C-D-E)			-25,665,143
C: 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	7,635,638				
D: 人件費 (円)					
a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	1,564				
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	7,722				
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	22.373,778				
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	14,772				
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い
 消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 -



全体写真

位置図

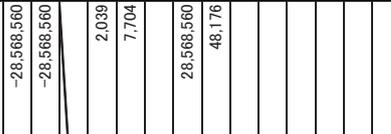
棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	保健福祉センター	2003	13	1,909m ²	W	1	不要	不要	●	x	●	●	●	●	●	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：東峰村立診療所

大分類	医療施設	中分類	医療施設	所管課	保健福祉課
所在地	小石原941-9				
総延床面積	敷地面積	593 m ²	あり	合計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	3人	正職員以外	人
年間利用者数	総戸数	2,241	入居戸数	空室戸数	定員
利用状況	年間利用者数	2,241	入居戸数	空室戸数	児童生徒数
	収入合計(円)		E: 指 定 管 理 料 (円)		学級数
A: 収入合計(円)			F: 収 支【経常】(A-B-D)		
B: 支出合計(人件費を除く)(円)	4,568,560		G: 総 収 支 (A-B-C-D-E)		-28,568,560
C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)					-28,568,560
D: 人 件 費 (円)	24,000,000				
a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数					2,039
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積					7,704
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B					28,568,560
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E					48,176
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					
利 便 性	A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある				
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されていない場所にある				
建物劣化状況	C 大規模な改修等が行っていないため、破損・外傷が目立つ				
法定点検・調査等	A 法定点検や劣化診断を実施しているため、正常に作動すると考えられる				
消防設備等	A 適切な管理・交換が行われているため、不具合が目立つ				
設備の劣化状況	C 大規模な改修等が行っていないため、不具合が目立つ				
除 却 要 望	除却の希望がある				
備 考	老化・周辺施設整備				

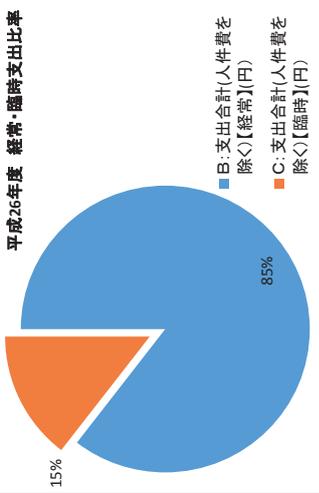


棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	診療所	1984	32	593m ²	RC	2	不要	不要	●	x	●	●	●	●	x	更新検討
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：東峰村立診療所・小石原歯科診療所

大分類	医療施設	中分類	医療施設	所管課	保健福祉課
所在地	小石原3784-1				
総延床面積	290㎡	敷地面積	1,214㎡	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	38	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員
A：収入合計(円)	600,000	E：指定期間管理料(円)			学級数
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	2,299,589	F：収支【経常】(A-B-D)			
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	390,960	G：総収支(A-B-C-D-E)			
D：人件費(円)					
a：利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数					60,516
b：床面積当り【経常】コスト B/延床面積					7,935
c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B					
d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E					2,299,589
e：床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					9,284
利便性	B 公共交通(電車・バス)を利用しやすい場所にある				
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されていないため、破損・外傷が目立つ				
建物劣化状況	C 大規模な改修等が行っていないため、問題はない				
法定点検・調査等	A 法定点検や劣化診断を実施しているため、正常に作動すると考えられる				
消防設備等	A 適切な管理・交換が行われているため、不具合が目立つ				
設備の劣化状況	C 大規模な改修等が行っていないため、不具合が目立つ				
除却要望	-				
備考	一部民間歯科に貸出				



全体写真

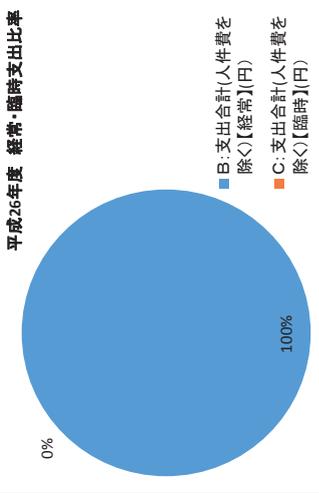
位置図

棟番号	棟名	棟年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	診療所	1996	20	290㎡	W	1	不要	不要	●	x	●	●	●	●	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：東峰村役場宝珠山庁舎

大分類	行政系施設	中分類	庁舎等	所管課	総務課
所在地	宝珠山6425他10筆				
総延床面積	敷地面積	4,029 m ²	合計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	20人	正職員以外	4人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F：収 支【経常】(A-B-D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G：総 収 支 (A-B-C-D-E)				
D：人 件 費 (円)	165,906,000				
a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	7,083				
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	173,180,665				
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	168,628				
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E					
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	役場庁舎	1979	37	1,027m ²	RC	2	実施済	未実施	●	x	●	●	●	●	●	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

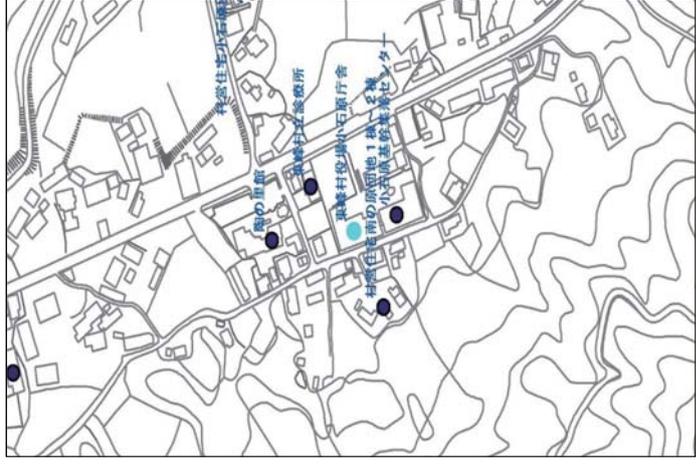
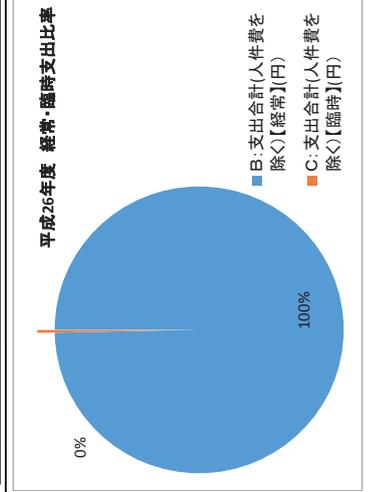
基幹集落センター併設

<MEMO>

施設名称：東峰村役場小石原庁舎

大分類	行政系施設	中分類	庁舎等	所管課	総務課
所在地	小石原941-9				
総延床面積	敷地面積	8,010 m ²	会計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	13 人	正職員以外	2 人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F：収 支【 経 常】(A - B - D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G：総 収 入 (A - B - C - D - E)				
D：人 件 費 (円)	106,708,000				
a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数					
b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	4,561				
c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	115,214,580				
d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	61,792				
e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施しているため、正常に作動すると考えられる
 消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 -



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	役場庁舎	1994	22	1,747m ²	RC	2	不要	不要	●	x	●	●	●	●	x	利用検討
2	庁舎車庫	1994	22	118m ²	S	1	不要	不要	●	x	●	●	●	●	x	
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

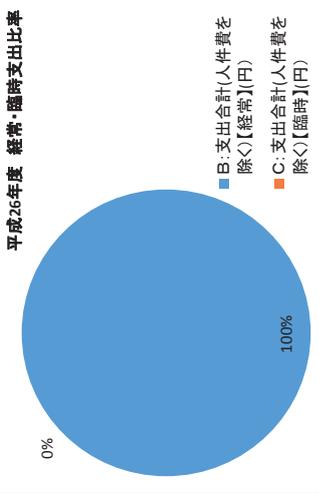
<MEMO>

施設名称：消防団上福井格納庫(3-2)

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	福井2818-3				
総延床面積	敷地面積	135 m ²	合計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	借上	総合施設区分 単独	
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
利用状況	年間利用者数	住宅			
	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G：総 収 支 (A - B - C - D - E)				
D：人 件 費 (円)					

平成26年度経常・臨時支出比率	513
a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	513
b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	26,672
c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	513
d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	
e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 D 実施についてはわからない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 -



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	消防詰所	1975	41	52m ²	W	1	不明	不明	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：消防用千代丸格納庫(4-1)

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	宝珠山2262				
総延床面積	敷地面積	552 m ²	合計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分 単独	
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅				学校
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				学級数
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)				
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	G：総 収 支 (A - B - C - D - E)				
D：人 件 費 (円)					

平成26年度 経常・臨時支出比率

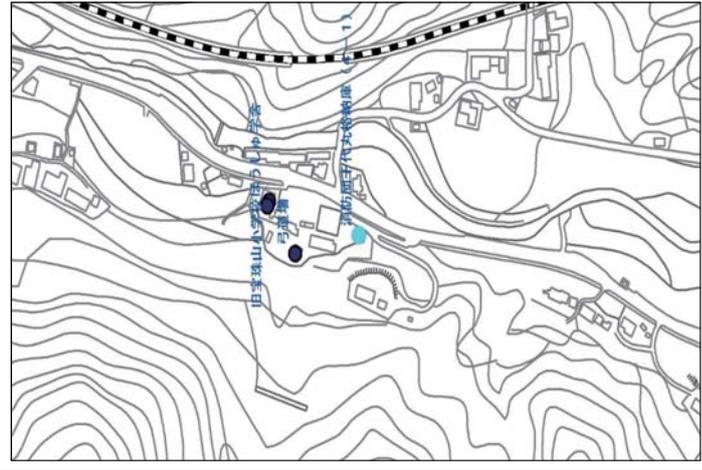
■ B: 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)
■ C: 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)

コスト	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	584
指標	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	584
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	30.368
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	584
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	584

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 D 実施についてはわからない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 -



全体写真



位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	消防詰所	1975	41	52m ²	W	1	不明	不明	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

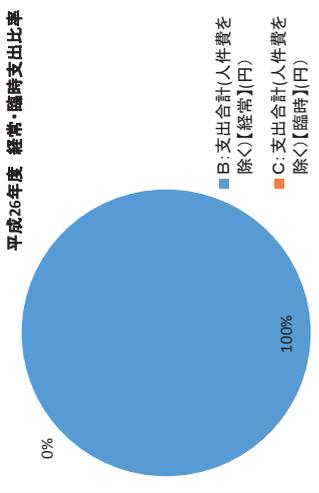
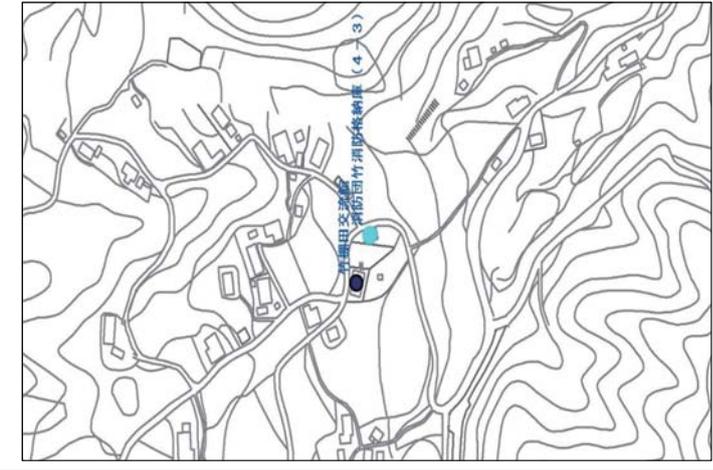
<MEMO>

施設名称：消防用竹格納庫(4-3)

位置図

全体写真

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	宝珠山5148-5				
総延床面積	敷地面積	30㎡	57㎡	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅				学校
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
				E: 指 定 管 理 料 (円)	学級数
A: 収入合計(円)				F: 収 支【経常】(A-B-D)	
B: 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)		29,768		G: 総 収 支 (A-B-C-D-E)	-29,768
C: 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)					-29,768
D: 人 件 費 (円)					
a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数					
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積					992
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B					
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E					29,768
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					992



平成26年コスト状況

コスト	992
指標	29,768
992	

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造
1	消防詰所	1975	41	30㎡	W
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	消防詰所	1975	41	30㎡	W	不明	不明	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															

<MEMO>

施設名称：古城原格納庫

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	福井1415-1				
総延床面積	26 m ²	敷地面積	664 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	借上	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数 学級数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)				
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	G：総 収 支 (A - B - C - D - E)				
D：人 件 費 (円)					

コスト指標	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数
	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 D 委施についてはわからない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 -



平成26年度 経常・臨時支出比率

0%

0%

■ B: 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)
 ■ C: 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	分回詰所	1975	41	26m ²	W	1	不明	不明	●	x	x	x	x	x	x	要早急対応
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

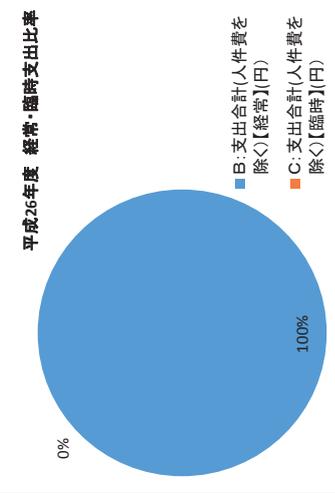
施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：中原格納庫

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	宝珠山851-3				
総延床面積	敷地面積	242 m ²	会計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
利用状況	年間利用者数	住宅			
	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)					学級数
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	10,716				E：指 定 管 理 料 (円)
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)					F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)
D：人 件 費 (円)					G：総 収 支 (A - B - C - D - E)
コスト	a：利用1人当り【経常】コスト	B/年間利用者数			
指標	b：床面積当り【経常】コスト	B/延床面積	198		
	c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合	A/B	10,716		
	d：臨時的経費を除く総コスト	B+D+E	198		
	e：床面積当り【経常+臨時】コスト	(d+C)/床面積			

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 D 実施についてはわからない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 -



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	分回詰所	1990	26	54m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：栗林格納庫

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	宝珠山2955-4				
総延床面積	22 m ²	敷地面積	166 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F：収 支【経常】(A-B-D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G：総 収 支 (A-B-C-D-E)				
D：人 件 費 (円)					



全体写真

位置図

コスト指標
a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数
b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積
c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B
d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E
e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
法定点検・調査等 D 実施についてはわからない
消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない

除却要望 -

備考 -

棟番号	棟名	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	分団詰所		1990	26	22m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	

<MEMO>

施設名称：消防用翻格納庫(2-1)

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	小石原2829-1				
総延床面積	36㎡	敷地面積	153㎡	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅				学校
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A: 収入合計(円)	E: 指定管理料(円)				学級数
B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F: 収支【経常】(A-B-D)				-24,446
C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G: 総収支(A-B-C-D-E)				-24,446
D: 人件費(円)					

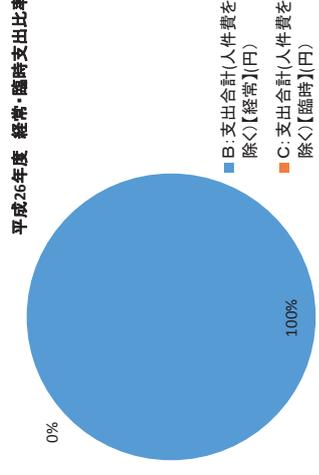
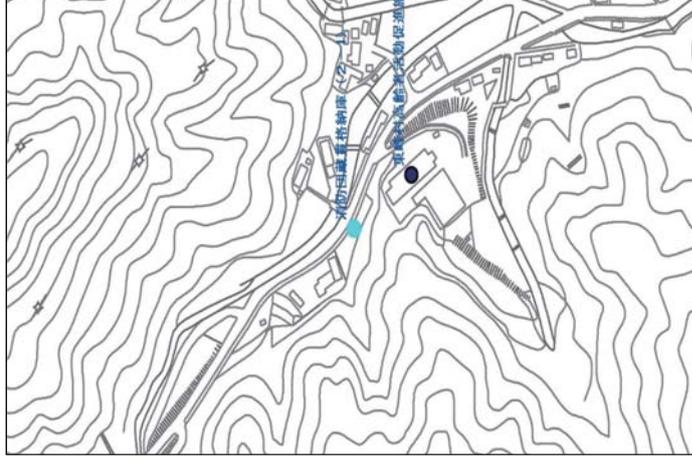
コスト	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	670
指標	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	670
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	24,446
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	670
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	670

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 D 実施についてはわからない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考

全体写真



位置図



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	分回詰所	1992	24	36㎡	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

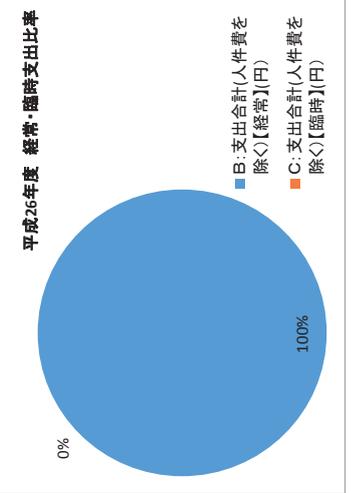
施設名称：消防団四山格納庫(1-2)

大分類	行政系施設	消防施設	所管課	総務課
所在地	小石原717-3			
総延床面積	敷地面積	22 m ²	合計	普通会計
施設保有状況	所有	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外
年間利用者数	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員
利用状況	児童生徒数	学級数	学級数	学級数

A: 収入合計(円)	E: 指定管理料(円)
B: 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	F: 収支【経常】(A-B-D)
C: 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	G: 総収支(A-B-C-D-E)
D: 人件費(円)	

a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	1,022
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	22,360
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	1,022

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 D 実施についてはわからない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	分団詰所	1992	24	22m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

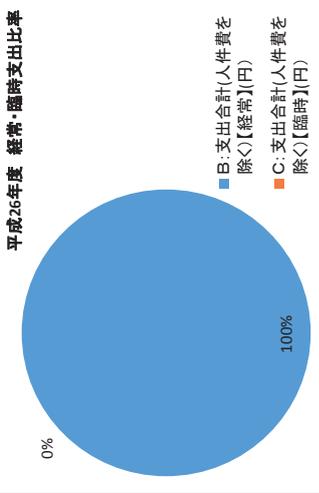
<MEMO>

施設名称：消防団蔵賞格納庫(2-2)

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	小石原蔵3370-5				
総延床面積	36 m ²	敷地面積	90 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	借上	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数		住宅		学校	
利用状況		総戸数	入居戸数	空室戸数	定員
					児童生徒数
					学級数
A：収入合計(円)		E：指定管理料(円)			
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	24,446	F：収支【経常】(A-B-D)			-24,446
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		G：総収支(A-B-C-D-E)			-24,446
D：人件費(円)					

コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	670
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	670
	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	24,446
	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	670
	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	670

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 D 実施についてはわからない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 -



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	分団詰所	1993	23	36m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

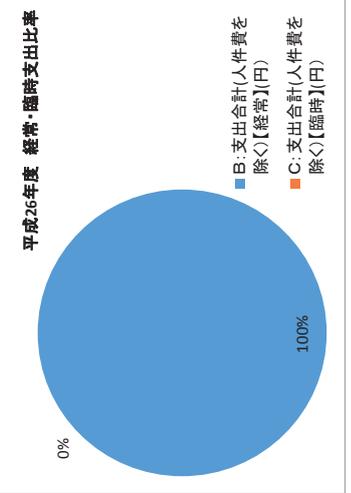
<MEMO>

施設名称：消防団奥畑格納庫(1-3)

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	小石原460-2				
総延床面積	敷地面積	192 m ²	合計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	借上	総合施設区分 単独	
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
利用状況	年間利用者数	住宅			学校
	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				学級数
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	24,168	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)			-24,168
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)		G：総 収 支 (A - B - C - D - E)			-24,168
D：人 件 費 (円)					

a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	701
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	24,168
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	701

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建築物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 D 実施についてはわからない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備 考 -



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	分団詰所	1993	23	34m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

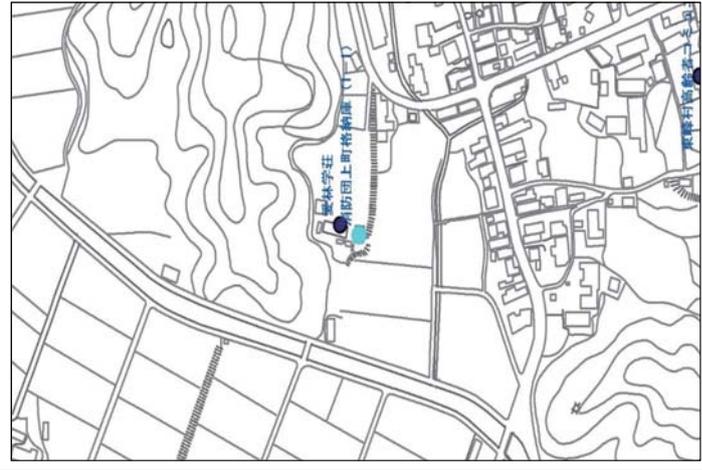
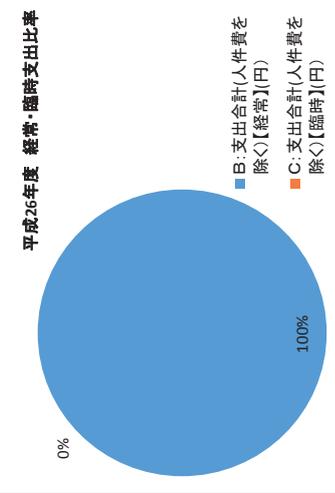
<MEMO>

施設名称：消防団上町格納庫(1-1)

大分類	行政系施設	消防施設	所管課	総務課
所在地	小石原531-3			
総延床面積	敷地面積	166 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分 単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外 人
利用状況	年間利用者数	住宅	入居戸数	空室戸数
			定員	児童生徒数
			E：指 定 管 理 料 (円)	学級数
A：収入合計(円)			F：収 支【経 常】(A - B - D)	
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	21,248		G：総 収 支 (A - B - C - D - E)	-21,248
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)				-21,248
D：人 件 費 (円)				

コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	340
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	340
	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	21,248
	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	340
	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	340

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 D 実施についてはわからない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備 考 -



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	分団詰所	1998	18	63m ²	RC	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：消防団大行司格納庫(3-1)

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	宝珠山6406-1				
総延床面積	98 m ²	敷地面積	m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅				学校
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				学級数
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)				
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	G：総 収 支 (A - B - C - D - E)				-64,800
D：人 件 費 (円)					-64,800
a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数					
b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積					661
c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B					
d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E					64,800
e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積					661

利 便 性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない

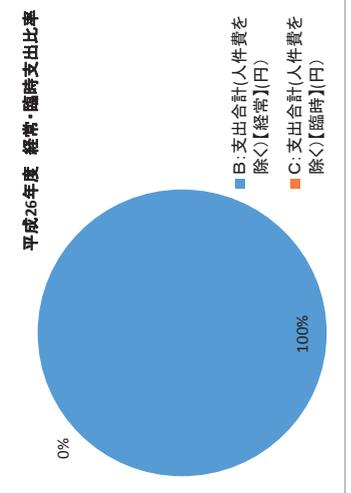
法定点検・調査等 D 実施についてはわからない

消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる

設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない

除 却 要 望 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない

備 考



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	大行司格納庫	2011	5	98m ²	W	2	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

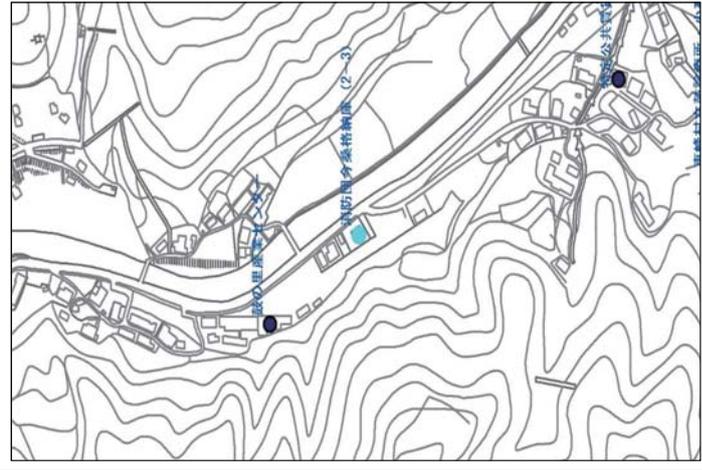
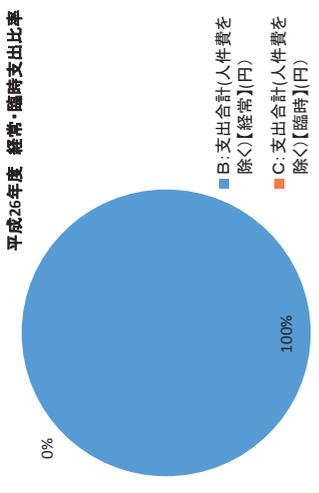
<MEMO>

施設名称：消防団今桑格納庫(2-3)

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	小石原藪3512-1				
総延床面積	77 m ²	敷地面積	423 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員		人	正職員以外
年間利用者数	住宅				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
				E: 指 定 管 理 料 (円)	学級数
A: 収入合計(円)				F: 収 支【経 常】(A - B - D)	
B: 支出合計(人件費を除く)(円)		30,149		G: 総 収 支 (A - B - C - D - E)	-30,149
C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)					-30,149
D: 人 件 費 (円)					

a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	392
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	30,149
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	392

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない
 法定点検・調査等 D 実施についてはわからない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微妙な不具合は存在するが、故障や事故に結びつく可能性は少ない
 除却要望 -
 備 考 -



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	分団詰所	2011	5	77m ²	W	1	不明	不明	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

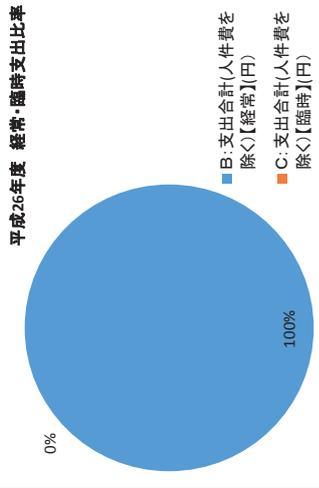
<MEMO>

施設名称：消防火紙屋根納庫(3-3)

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	所管課	総務課
所在地	福井582-7				
総延床面積	77 m ²	敷地面積	251 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員		人	正職員以外
年間利用者数	住宅				学校
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				学級数
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)				
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	G：総 収 支 (A - B - C - D - E)				
D：人 件 費 (円)					

平成26年コスト状況	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	975
	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	975
	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	75.039
	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	975
	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	975

利便性 A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない
 法定点検・調査等 D 実施については古くはない
 消防設備等 B 一部の設備は古くはないが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微妙な不具合は存在するが、故障や事故に結びつく可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 -



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	消防詰所	2011	5	77m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：村営住宅下郷団地

大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課	建設水道課
所在地	福井2223-2				
総延床面積	78 m ²	敷地面積	820 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	種合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
	2	1	1	6,000	学校
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F：収 支【経 常】(A-B-D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G：総 収 支 (A-B-C-D-E)				
D：人 件 費 (円)					
a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数					
b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	62				
c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	1				
d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	4,836				
e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	62				

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 C 大規模な改修等が行っていないため、破損・外傷が目立つ

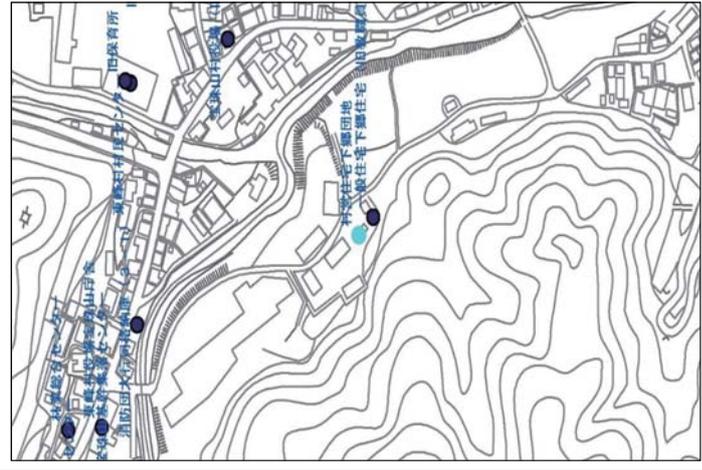
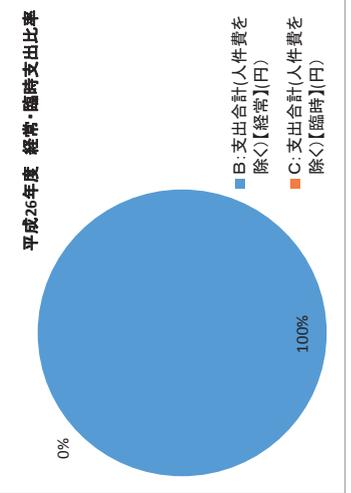
法定点検、調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない

消防設備等 - 未判定

設備の劣化状況 C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ

除却要望 C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ
除却の希望がある

備 考
老朽化



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	村営住宅下郷団地	1953	63	78m ²	W	1	実施済	未実施	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

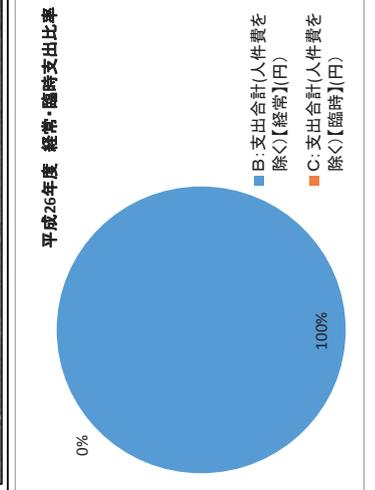
施設名称：村営住宅小石原団地

大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課	建設水道課
所在地	小石原895-3				
総延床面積	386 m ²	敷地面積	970 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	複合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
	5	4			学級数
A：収入合計(円)	181,200	E：指定期間管理料(円)			
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	9,819	F：収支【経常】(A-B-D)(円)	171,381		
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		G：総収支(A-B-C-D-E)(円)	171,381		
D：人件費(円)					

コスト	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	25
指標	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	18
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	9.819
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	25
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない
 消防設備等 - 未判定
 設備の劣化状況 C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ
 除却要望 C 除却の希望がある

備考 老朽化



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	村営住宅小石原団地1棟	1973	43	193m ²	W	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	x	x	用途廃止
2	村営住宅小石原団地2棟	1973	43	193m ²	W	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	x	x	
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

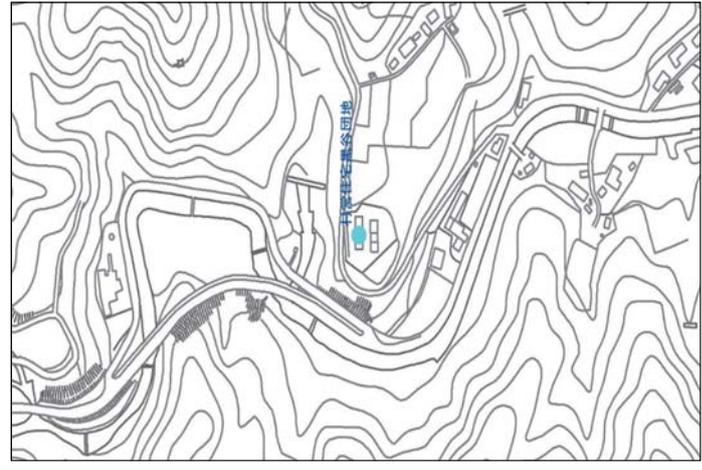
施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：村営住宅黒谷団地

大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課
所在地	小石原畷1969-1			建設水道課
総延床面積	293 m ²	敷地面積	1,874 m ²	会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	種合施設区分
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外
年間利用者数		住宅		学校
利用状況		総戸数	入居戸数	空室戸数
		6	5	1
			214,800	E：指 定 管 理 料 (円)
A：収入合計(円)			307,608	F：収 支【経 常】(A - B - D)
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)			313,740	G：総 収 支 (A - B - C - D - E)
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)				
D：人 件 費 (円)				

平成26年度経常・臨時支出比率	50%	50%
■ B:支出合計(人件費を除く)【経常】(円)		
■ C:支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)		



全体写真

位置図

コスト	1,049
指標	1
307,608	2,120
利便性	B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
建物劣化状況	C 大規模な改修等は行っていないため、破損・外傷が目立つ
法定点検・調査等	C 法定点検や劣化診断は実施していない
消防設備等	- 未判定
設備の劣化状況	C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ
除却要望	除却の希望がある
備考	老朽化

棟番号	棟名	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	村営住宅黒谷団地1棟	1977	244m ²	W	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	村営住宅黒谷団地2棟	1978	49m ²	W	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	x	x	
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															

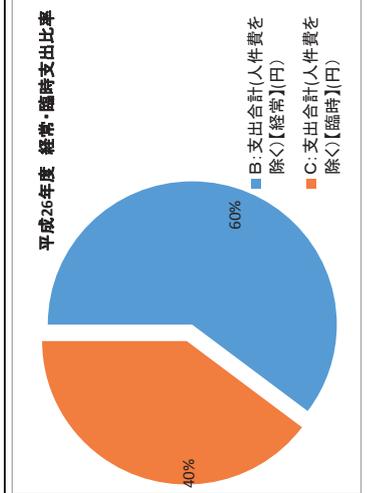
<MEMO>

施設名称：村営住宅合坂団地

大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課	建設水道課
所在地	小石原1007-3				
総延床面積	619 m ²	敷地面積	3,326 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	複合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
	8	8			学級数
A：収入合計(円)	1,070,400	E：指 定 管 理 料 (円)			
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	444,784	F：収 支【経常】(A-B-D)			625,616
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	293,036	G：総 収 支 (A-B-C-D-E)			332,580
D：人 件 費 (円)					

コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	718
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	2
	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	444,784
	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	1,191
	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない
 法定点検調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない
 消防設備等 - 未判定
 設備の劣化状況 C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ
 除却要望 -
 備 考



全体写真

位置図

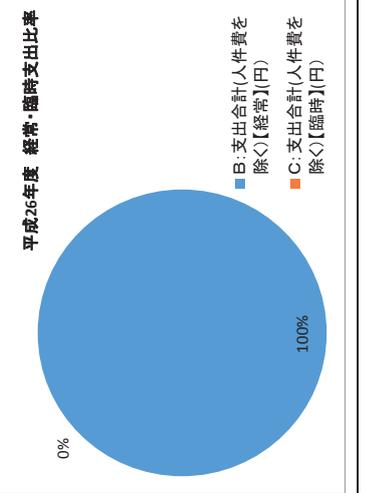
棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	村営住宅合坂団地1棟	1979	37	164m ²	W	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	村営住宅合坂団地2棟	1979	37	164m ²	W	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	x	x	
3	村営住宅合坂団地3棟	1979	37	164m ²	W	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	x	x	
4	村営住宅合坂団地4棟	1984	32	126m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：村営住宅南の原団地

大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課
所在地	小石原1008-12 建設水道課			
総延床面積	207 m ²	敷地面積	1,070 m ²	会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	借上	複合施設区分
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外
年間利用者数	住宅 学校			
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員
	4	2	2	児童生徒数
			240,000	管理料 (円)
A: 収入合計 (円)			254,474	F: 収支【経常】(A-B-D)
B: 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)				G: 総収支(A-B-C-D-E)
C: 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)				
D: 人件費 (円)				

平成26年度経常・臨時支出比率	100%
0%	
■ B: 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	
■ C: 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)	
コスト	1,227
指標	1
254,474	1,227
利便性	B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
建物劣化状況	C 大規模な改修等は行っていないため、破損・外傷が目立つ
法定点検・調査等	C 法定点検や劣化診断は実施していない
消防設備等	- 未判定
設備の劣化状況	C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ
除却要望	除却の希望がある
備考	老朽化



棟番号	棟名	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	村営住宅南の原団地1棟	1984	104m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	用途廃止
2	村営住宅南の原団地2棟	1984	104m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															

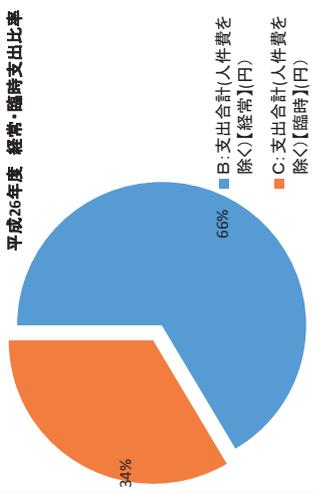
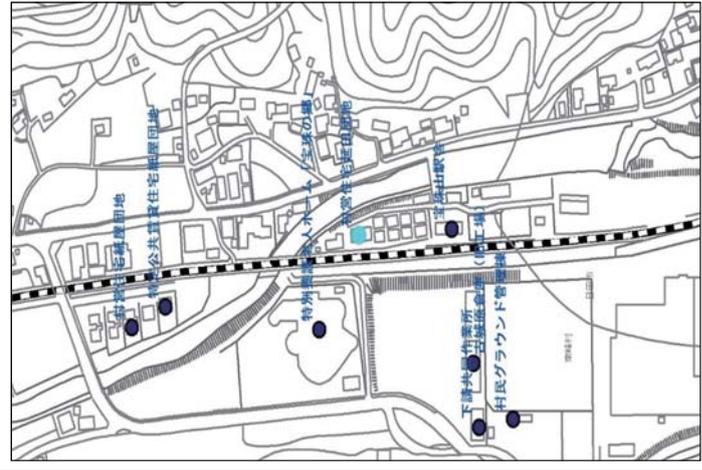
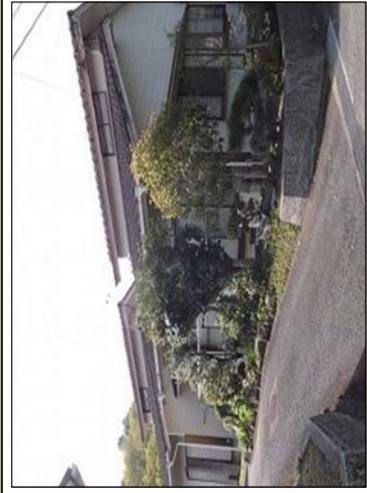
<MEMO>

施設名称：村営住宅延田団地

全体写真

位置図

大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課	建設水道課
所在地	福井926-8				
総延床面積	647 m ²	敷地面積	1,840 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	複合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
	10	10			学級数
A：収入合計(円)	1,573,200 E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	291,359 F：収 支【経常】(A-B-D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	146,858 G：総 収 支 (A-B-C-D-E)				
D：人 件 費 (円)	1,134,983				
コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数				
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積				
利便性	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B				
被災の危険性	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E				
建物劣化状況	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積				
法定点検調査等	B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある				
消防設備等	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある				
設備の劣化状況	A 目立った破損・外傷はない				
除却要望	C 法延点検や劣化診断は実施していない				
備 考	- 未判定				
	C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ				
	-				



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	村営住宅延田団地A棟	1987	29	127m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	村営住宅延田団地B棟	1987	29	127m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
3	村営住宅延田団地C棟	1988	28	127m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
4	村営住宅延田団地D棟	1988	28	127m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
5	村営住宅延田団地E棟	1989	27	139m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

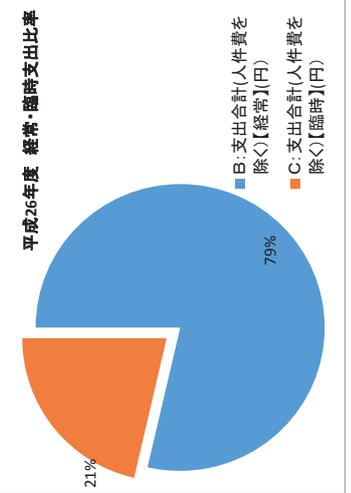
<MEMO>

施設名称：村営住宅山ノ神団地

大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課	建設水道課
所在地	福井2686-1				
総延床面積	敷地面積	1,403 m ²	合計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	複合施設区分 併設	
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
利用状況	年間利用者数	住宅			
	総戸数	4	入居戸数	4	児童生徒数
平成26年度コスト状況	A: 収入合計(円)	1,423,200	E: 指定管理料(円)		
	B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	149,004	F: 収支【経常】(A-B-D)	1,274,196	
	C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	40,500	G: 総収支(A-B-C-D-E)	1,233,696	
	D: 人件費(円)				

コスト指標	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	495
	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	10
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	149,004
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	630
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない
 法定点検調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない
 消防設備等 - 未判定
 設備の劣化状況 C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ
 除却要望 -
 備考



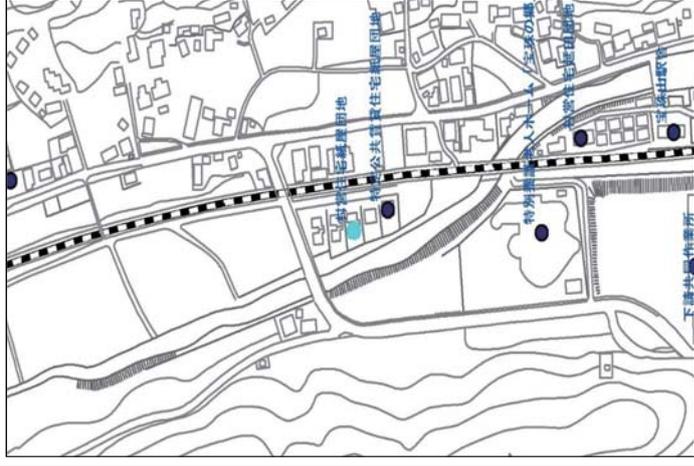
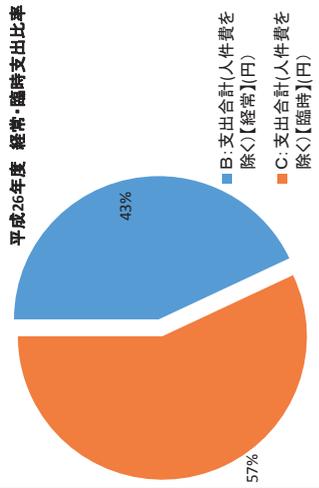
棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	村営住宅山ノ神団地A棟	1994	22	151 m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	村営住宅山ノ神団地B棟	1994	22	151 m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：村営住宅紙屋団地

大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課	建設水道課
所在地	福井750-1				
総延床面積	426 m ²	敷地面積	5,508 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	複合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
	6	6			学級数
A：収入合計(円)	1,866,000 E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	197,360 F：収 支【経常】(A-B-D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	261,772 G：総 収 支 (A-B-C-D-E)				
D：人 件 費 (円)	1,406,868				

平成26年度経常・臨時支出比率	43%	57%
■ B:支出合計(人件費を除く)(経常)(円)		
■ C:支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		
コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	463
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	9
	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	197,360
	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	1,078
	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	
利便性	B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある	
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある	
建物劣化状況	A 目立った破損・外傷はない	
法定点検・調査等	C. 法定点検や劣化診断は実施していない	
消防設備等	- 未判定	
設備の劣化状況	A 目立った不具合はない	
除却要望	-	
備 考	-	

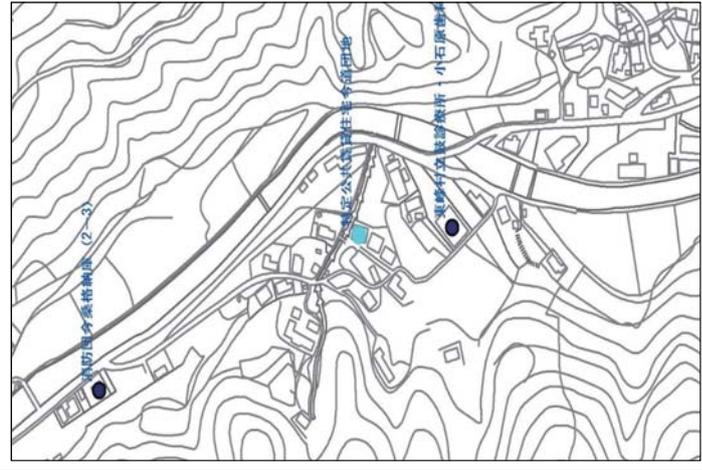
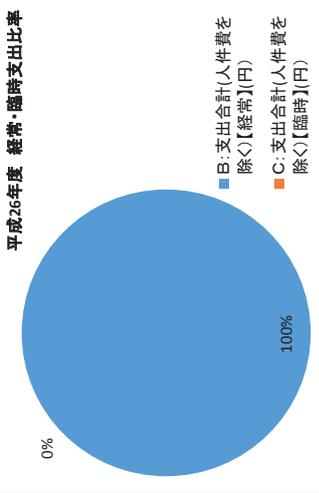


棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	村営住宅紙屋団地C棟	2009	7	142m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	村営住宅紙屋団地D棟	2009	7	142m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
3	村営住宅紙屋団地E棟	2009	7	142m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：特定公共賃貸住宅今道団地

大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課	建設水道課
所在地	小石原3764-1				
総延床面積	敷地面積	1,134 m ²	合計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	複合施設区分 併設	
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅				
利用状況	総戸数	3	入居戸数	空室戸数	定員
	3	1,749,600	E	指 定 管 理 料 (円)	学級数
A : 収入合計 (円)	291,157	F	収 支 【 経 常 】 (A - B - D)	1,458,443	
B : 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)		G	総 収 支 (A - B - C - D - E)	1,458,443	
C : 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)					
D : 人 件 費 (円)					
コスト	a:利用1人当り【経常】コスト	B/年間利用者数			
指標	b:床面積当り【経常】コスト	B/延床面積	1,178		
	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合	A/B	6		
	d:臨時的経費を除く総コスト	B+D+E	291,157		
	e:床面積当り【経常+臨時】コスト	(d+C)/床面積	1,178		
利便性	B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある				
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある				
建物劣化状況	A 目立った破損・外傷はない				
法定点検・調査等	C 法定点検や劣化診断は実施していない				
消防設備等	- 未判定				
設備の劣化状況	C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ				
除却要望	-				
備考	-				



全体写真

位置図

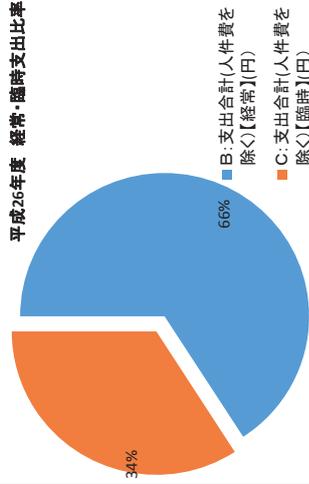
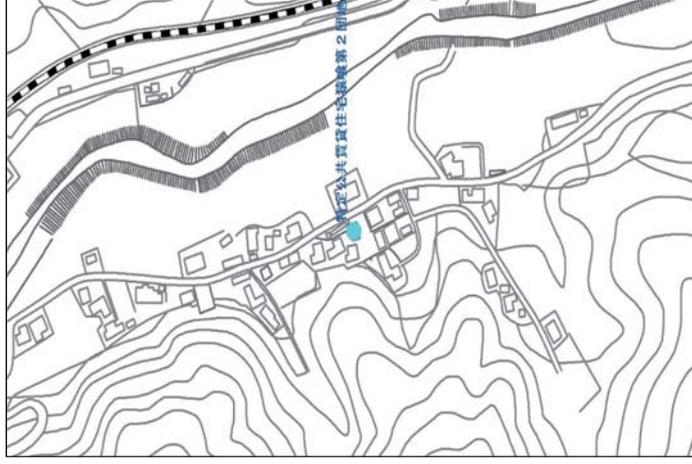
棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	特定公共賃貸住宅今道団地A棟	1996	20	82m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	特定公共賃貸住宅今道団地B棟	1996	20	82m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
3	特定公共賃貸住宅今道団地C棟	1996	20	82m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：特定公共賃貸住宅猿嶮第2団地

全体写真

位置図



大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課	建設水道課
所在地	福井1859				
総延床面積	209 m ²	敷地面積	944 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	複合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
	2	2	1,068,000	E: 指 定 管 理 料 (円)	学級数
A: 収入合計(円)	1,068,000				
B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	238,714				
C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	123,750				
D: 人件費(円)	G: 総 収 入 (A - B - C - D - E)				
	705,536				
コスト	a: 利用1人当り【経常】コスト	B/年間利用者数			
指標	b: 床面積当り【経常】コスト	B/延床面積	1,142		
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合	A/B	4		
	d: 臨時的経費を除く総コスト	B+D+E	238,714		
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト	(d+C)/床面積	1,734		

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない

法定点検・調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない

消防設備等 - 未判定

設備の劣化状況 C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ

除却要望 -

備考

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	特定公共賃貸住宅猿嶮第2団地A棟	2002	14	103m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	特定公共賃貸住宅猿嶮第2団地B棟	2002	14	106m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

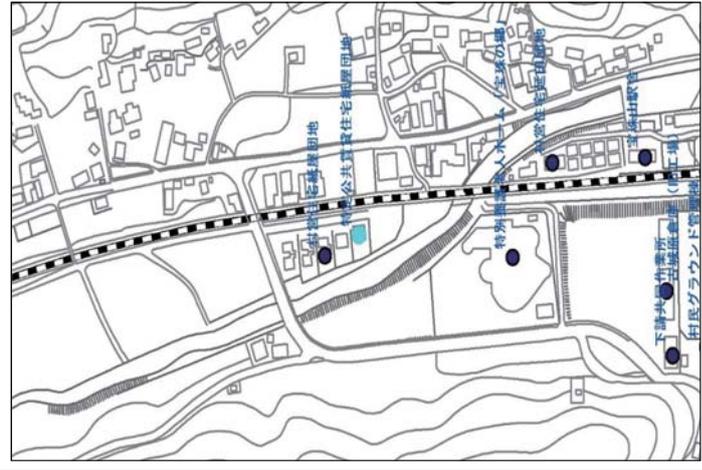
<MEMO>

施設名称：特定公共賃貸住宅総屋団地

全体写真

位置図

大分類	公営住宅	中公営住宅	所管課	建設水道課
所在地	福井750-1			
総延床面積	150 m ²	敷地面積	1,696 m ²	会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	複合施設区分
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外
年間利用者数	住宅			
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員
	2	2		児童生徒数
				学級数
A：収入合計(円)	1,248,000	E：指 定 管 理 料 (円)		
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)		F：収 支【経常】(A-B-D)		1,248,000
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		G：総 収 支 (A-B-C-D-E)		1,248,000
D：人 件 費 (円)				
a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数				
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積				
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B				
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E				
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積				



利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない

法定点検・調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない

消防設備等 - 未判定

設備の劣化状況 A 目立った不具合はない

除却要望 -

備考

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	特定公共賃貸住宅総屋団地A棟	2009	7	75m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	特定公共賃貸住宅総屋団地B棟	2009	7	75m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：一般住宅下郷住宅(旧教職員住宅)

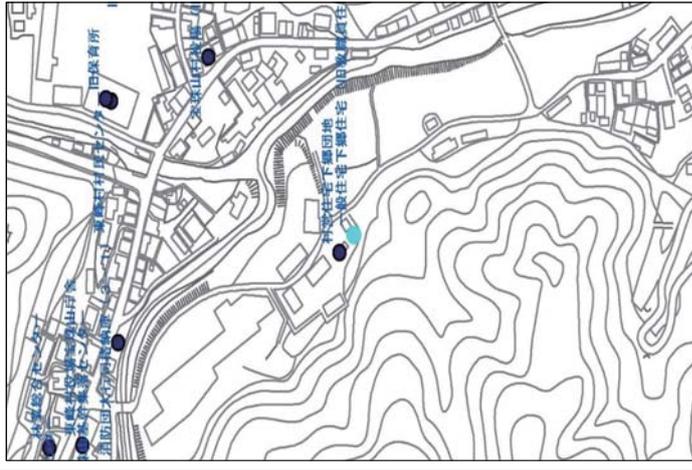
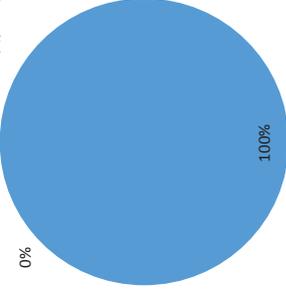
全体写真

位置図

大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課	建設水道課
所在地	福井2223-2				
総延床面積	48 m ²	敷地面積	m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	種合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
	1	1	48,000	E：指 定 管 理 料 (円)	学級数
A：収入合計(円)	48,000	E：指 定 管 理 料 (円)			
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	11,096	F：収 支 【 経 常 】 (A - B - D)			36,904
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)		G：総 収 支 (A - B - C - D - E)			36,904
D：人 件 費 (円)					
a：利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数					
b：床面積当り【経常】コスト B/延床面積	231				
c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	4				
d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E	11,096				
e：床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	231				



平成26年度 経常・臨時支出比率



利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 C 大規模な改修等が行っていないため、破損・外傷が目立つ

法定点検、調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない

消防設備等 - 未判定

設備の劣化状況 C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ

除却要望 C 大規模な改修等は行っていないため、不具合の希望がある

備考 老朽化

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	一般住宅下郷住宅(旧教職員住宅)	1953	63	48m ²	W	1	実施済	未実施	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

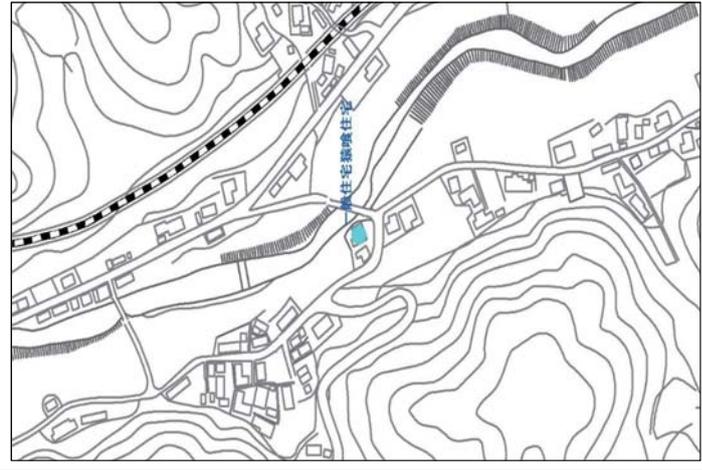
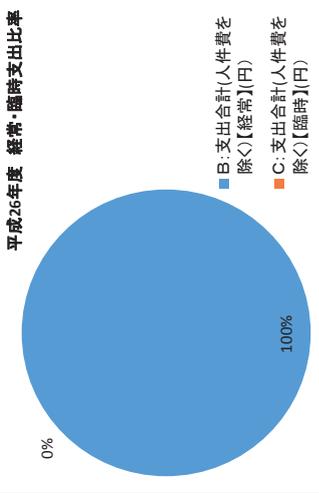
<MEMO>

施設名称：一般住宅猿喰住宅

全体写真

位置図

大分類	公営住宅	中分類	公営住宅	所管課	建設水道課
所在地	福井2019-3				
総延床面積	敷地面積	797 m ²	合計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	複合施設区分 併設	
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
利用状況	年間利用者数	住宅			
	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
	2	2			学校
A：収入合計(円)	774,000	E：指定期間管理料(円)			
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)	13,150	F：収支【経常】(A-B-D)	760,850		
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)		G：総収支(A-B-C-D-E)	760,850		
D：人件費(円)					
a：利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数					
b：床面積当り【経常】コスト B/延床面積	58				
c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	59				
d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E	13,150				
e：床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	58				



利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
建物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない
法定点検・調査等 C 法定点検や劣化診断は実施していない
消防設備等 - 未判定
設備の劣化状況 C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ
除却要望 -
備考

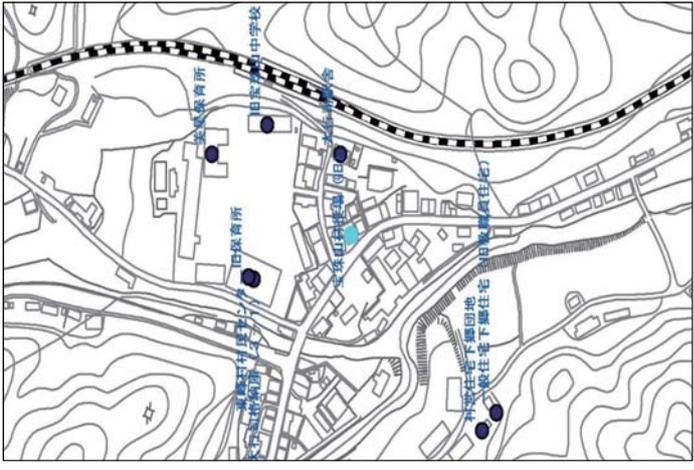
棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	一般住宅猿喰住宅A棟	2000	16	112m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2	一般住宅猿喰住宅B棟	2000	16	113m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：宝珠山村役場(旧)		その他		中分類		その他		所管課		総務課	
大分類		宝珠山15-9		敷地面積		263㎡		会計		普通会計	
所在地		347㎡		所有		所有		総合施設区分		単独	
施設保有状況		所有		土地保有状況		所有		正職員以外		人	
運営方法		直営		正職員		人		正職員以外		人	
年間利用者数		総戸数		入居戸数		空室戸数		定員		児童生徒数	
利用状況		住宅		5,000		E：指 定 管 理 料 (円)		F：収 支【経 常】(A - B - D)		-48,403	
A：収入合計(円)		53,403		F：収支【経常】(円)		G：総収支(A-B-C-D-E)		-48,403			
B：支出合計(人件費を除く)【経常】(円)		5,000		E：指 定 管 理 料 (円)							
C：支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)											
D：人 件 費 (円)											
a：利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数											
コスト		154		b：床面積当り【経常】コスト B/延床面積							
指標		53,403		c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B							
d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E		154		e：床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積							
利便性		A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある		被災の危険性		D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある		建物劣化状況		B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない	
評価		B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる		消防設備等		B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる		設備の劣化状況		B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない	
除却要望		除却の希望がある									
備考											

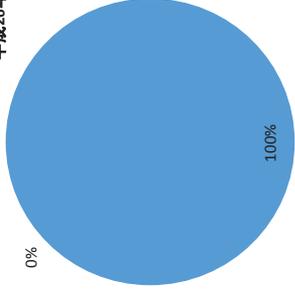


全体写真



位置図

平成26年度 経常・臨時支出比率



■ B:支出合計(人件費を除く)【経常】(円)
■ C:支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)

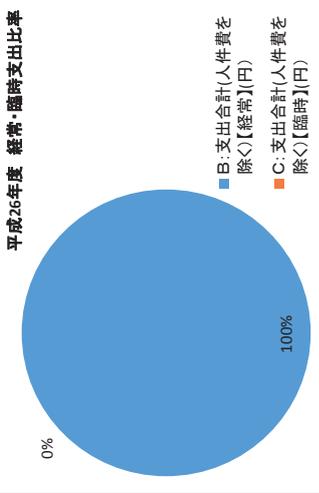
棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	その他	1937	79	347㎡	W	2	未実施	未実施	●	x	x	x	x	x	x	要早急対応
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：大行司駅舎

大分類	宝珠山11-6、3	その他	中分類	その他	所管課	総務課
所在地	宝珠山11-6、3					
総延床面積	77 m ²	敷地面積	1,118 m ²	会計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独	
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人	
年間利用者数	住宅 学校					
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数	学級数
A：収入合計(円)	5,000	E：指定期間管理料(円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	9,045	F：収支【経常】(A-B-D)				-4,045
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		G：総収支(A-B-C-D-E)				-4,045
D：人件費(円)						

平成26年度経常・臨時支出比率	100%
コスト指標	117
a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	
b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	117
c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	1
d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	9,045
e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	117
利便性	A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
建物劣化状況	A 目立った破損・外傷はない
法定点検・調査等	D 実施については問題ないと考えられる
消防設備等	B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
設備の劣化状況	B 細かい不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
除却要望	—
備考	施設一部貸出



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	その他	1946	70	77m ²	W	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	●	●	更新検討
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：旧宝珠山小学校		位置図	
大分類	宝珠山34、27-2他1筆	中分類	その他
所在地	宝珠山34、27-2他1筆	所管課	総務課
総延床面積	敷地面積 12,379 m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	総合施設区分	併設
運営方法	直営	人	正職員以外
年間利用者数	住宅	学校	人
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数
	定員	児童生徒数	学級数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)		
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F：収 支【経常】(A-B-D)		
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G：総 収 支 (A-B-C-D-E)		
D：人 件 費 (円)			
コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数		
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積		
	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B		
	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E		
	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積		
利便性	B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある		
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある		
建物劣化状況	B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結びつく可能性は少ない		
法定点検・調査等	A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い		
消防設備等	A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる		
設備の劣化状況	B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結びつく可能性は少ない		
除却要望	—		
備考	未利用		



全体写真



位置図

平成26年度 経常・臨時支出比率

0%

0%

- B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)
- C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	校舎	1972	44	2,237m ²	RC	1	実施済	実施済	●	×	×	×	×	●	×	利用検討
2	校舎	1950	66	695m ²	W	1	未実施	未実施	●	×	×	×	×	●	×	
3	校舎	1972	44	712m ²	W	1	実施済	実施済	●	×	×	×	×	●	×	
4	校舎	1972	44	91m ²	W	1	実施済	実施済	●	×	×	×	×	●	×	
5	給食調理場	1997	19	252m ²	RC	1	実施済	実施済	●	×	×	×	×	●	×	
6	宿直室(棟)	1972	44	219m ²	W	1	実施済	実施済	●	×	×	×	×	●	×	
7	便所(棟)	1972	44	41m ²	W	1	実施済	実施済	●	×	×	×	×	●	×	
8	便所(棟)	1972	44	19m ²	W	1	実施済	実施済	●	×	×	×	×	●	×	
9	渡廊下	1972	44	79m ²	W	1	実施済	実施済	●	×	×	×	×	●	×	
10	渡廊下	1972	44	39m ²	W	1	実施済	実施済	●	×	×	×	×	●	×	
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：旧宝珠山中学校

大分類	宝珠山31-6	中分類	宝珠山31-6	その他	宝珠山31-6	所管課	総務課
所在地	宝珠山31-6						
総延床面積	695 m ²	敷地面積	m ²	会計	普通会計		
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	併設		
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人		
年間利用者数	住宅						
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数	学級数	学級数
A：収入合計(円)	12,000	E：指定期間管理料(円)					
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	129,144	F：収支【経常】(A-B-D)					-117,144
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		G：総収支(A-B-C-D-E)					-117,144
D：人件費(円)							
a：利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数							
b：床面積当り【経常】コスト B/延床面積	186						
c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	129,144						
d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E	186						
e：床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積							
利便性	A 多くの人が(若しくは特定の利用者が)徒歩でも利用しやすい場所にある						
被災の危険性	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある						
建物劣化状況	B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない						
法定点検・調査等	D 委施についてはわからない						
消防設備等	C 正常に作動しない可能性が高い						
設備の劣化状況	B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない						
除却要望	除却の希望がある						
備考	老朽化						

平成26年度 経常・臨時支出比率

■ B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)
 ■ C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)



棟番号	棟名	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	校舎(駅側)	1972	695m ²	W	1	不明	不明	●	x	x	x	x	x	x	要早急対応
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															

施設内建物諸元

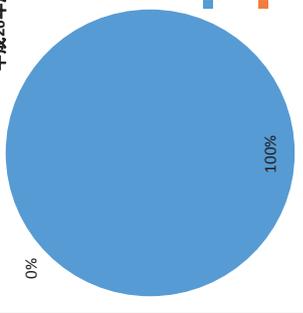
<MEMO>

施設名称：小石原教員住宅		その他		中分類		その他		所管課		総務課	
大分類		所在地		敷地面積		970 m ²		会計		普通会計	
総延床面積		193 m ²		所有		所有		複合施設区分		併設	
施設保有状況		直営		正職員		人		正職員以外		人	
運営方法		年間利用者数		住宅		入居戸数		空室戸数		定員	
利用状況		1		1		1		1		児童生徒数	
A：収入合計(円)		2,976		E：指定期間管理料(円)				学級数			
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)		2,976		F：収支【経常】(A-B-D)						-2,976	
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)				G：総収支(A-B-C-D-E)						-2,976	
D：人件費(円)											
a：利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数											
b：床面積当り【経常】コスト B/延床面積										15	
c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B										2,976	
d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E										15	
e：床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積											
利便性		B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある									
被災の危険性		D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある									
建物劣化状況		B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない									
法定点検・調査等		C 法定点検や劣化診断は実施していない									
消防設備等		- 未判定									
設備の劣化状況		C 大規模な改修等は行っていないため、不具合が目立つ									
除却要望		除却の希望がある									
備考		老朽化									

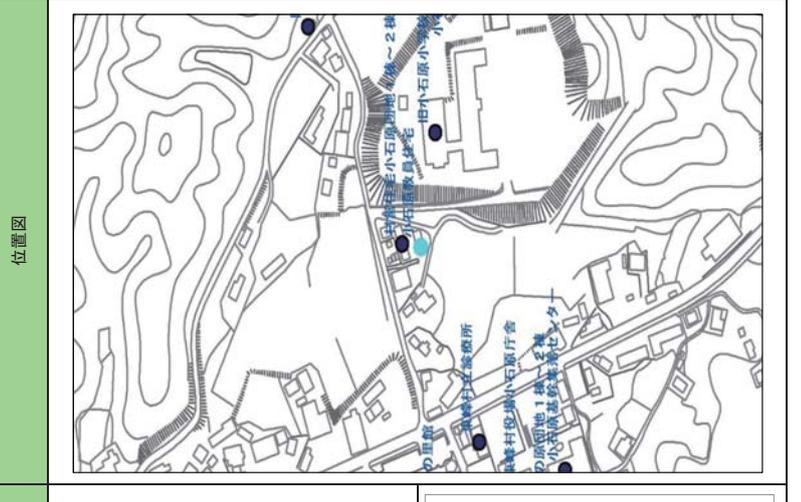


全体写真

平成26年度 経常・臨時支出比率



■ B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)
■ C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)



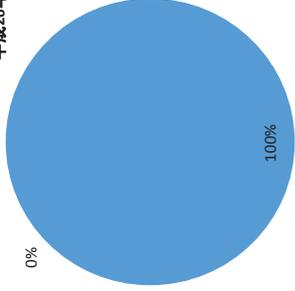
棟番号	棟名	築年数	築年	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	住宅	43	1973	193m ²	W	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	x	x	要早急対応
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：旧小石原小学校		その他		中分類		その他		所管課		総務課	
大分類		所在地		敷地面積		100,933 m ²		会計		普通会計	
施設情報		総延床面積		2,974 m ²		所有		総合施設区分		併設	
施設保有状況		所有		土地保有状況		所有		正職員以外		人	
運営方法		直営		正職員		正職員以外		人		人	
年間利用者数		住宅		入居戸数		空室戸数		定員		児童生徒数	
利用状況		723		6,600		E：指 定 管 理 料 (円)		F：収 支【経 常】(A - B - D)		-1,441,824	
A：収 入 合 計 (円)		1,448,424		F：収 支【経 常】(A - B - D)		G：総 収 入 (A - B - C - D - E)		-1,441,824		D：人 件 費 (円)	
平成26年度経常・臨時支出比率		2,003		a：利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数		2,003		b：床面積当り【経常】コスト B/延床面積		487	
26年度コスト状況		1,448,424		c：【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B		1,448,424		d：臨時的経費を除く総コスト B+D+E		487	
e：床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積		487		利 便 性		B 公共交通(電車・バス)を利用しやすい場所にある		被災の危険性		D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある	
建設状況		建設年		1981		築年数		35		延床面積	
構造		RC		2,130m ²		校舎		RC		RC	
体育館		RC		700m ²		渡廊下		RC		RC	
揚水場		RC		6m ²		便所(棟)		RC		RC	
車庫		S		70m ²		除 却 要 望		-		考 慮	

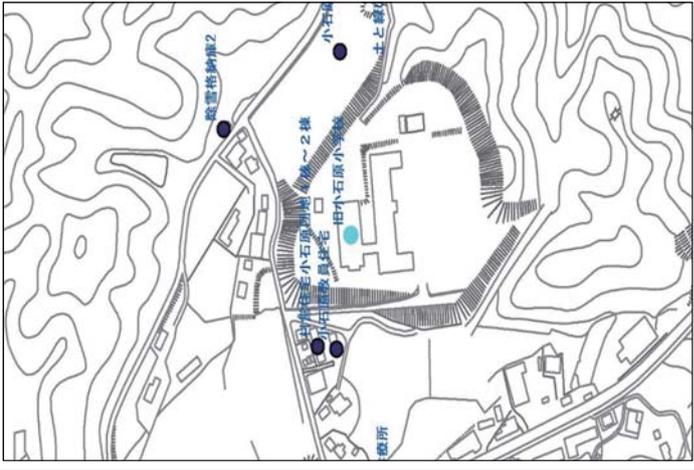


平成26年度 経常・臨時支出比率



100%
0%

■ B: 支出合計(人件費を除く)【経常】(円)
■ C: 支出合計(人件費を除く)【臨時】(円)



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	校舎	1981	35	2,130m ²	RC	2	未実施	未実施	●	x	x	x	x	●	x	利用検討
2	体育館	1981	35	700m ²	RC	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	●	x	
3	渡廊下	1981	35	46m ²	RC	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	●	x	
4	揚水場	1981	35	6m ²	RC	1	未実施	未実施	●	x	x	x	x	●	x	
5	便所(棟)	1998	18	22m ²	RC	1	不要	不要	●	x	x	x	x	●	x	
6	車庫	1998	18	70m ²	S	1	不要	不要	●	x	x	x	x	●	x	
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：除雪車格納庫1

大分類	その他	中分類	その他	所管課	建設水道課
所在地	小石原(村道西山一本杉線、村道血山線合流部付近)				
総延床面積	57㎡	敷地面積	㎡	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	種合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A: 収入合計(円)	E: 指 定 管 理 料 (円)				
B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F: 収 支【経常】(A-B-D)				
C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G: 総 収 支 (A-B-C-D-E)				
D: 人 件 費 (円)					

平成26年度 経常・臨時支出比率

0%

0%

■ B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)
 ■ C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	除雪車格納庫1	1982	34	57㎡	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

施設名称：除雪車格納庫2

大分類	その他	中分類	その他	所管課	建設水道課
所在地	小石原888-16				
総延床面積	75 m ²	敷地面積	m ²	会計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	種合施設区分	併設
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	F：収 支【経常】(A-B-D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G：総 収 支 (A-B-C-D-E)				
D：人 件 費 (円)					
コスト	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数				
指標	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積				
利便性	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B				
被災の危険性	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E				
建物劣化状況	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積				
法定点検、調査等	- 未判定				
消防設備等	D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある				
設備の劣化状況	B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない				
除却要望	C. 法定点検や劣化診断は実施していない				
備 考	- 未判定				
	B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない				

平成26年度 経常・臨時支出比率

0%

0%

■ B:支出合計(人件費を除く)(経常)(円)

■ C:支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)



棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	除雪車格納庫2	1983	33	75m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

<MEMO>

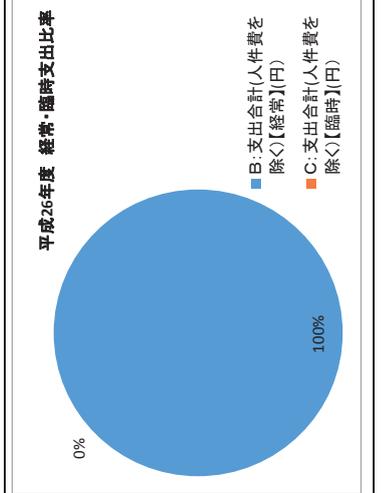
施設名称：下請共同作業所

大分類	その他	中分類	その他	所管課	総務課
所在地	福井950-1他9筆	敷地面積	258 m ²	会計	普通会計
総延床面積	258 m ²	土地保有状況	所有	組合施設区分	併設
施設保有状況	所有	直営	正職員	人	正職員以外
運営方法	直営	年間利用者数	入居戸数	空室戸数	定員
利用状況	住宅	総戸数	児童生徒数	学級数	学校
A: 収入合計(円)		E: 指定管理料(円)			
B: 支出合計(人件費を除く)(円)	41,765	F: 収支【経常】(A-B-D)			-41,765
C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		G: 総収支(A-B-C-D-E)			-41,765
D: 人件費(円)					

コスト指標	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	162
	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	162
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	41,765
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	162
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	162

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない
 法定点検・調査等 D 実施についてはわからない
 消防設備等 B 一部の設備は古くなっているが、作動には問題ないと考えられる
 設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -

備考



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	共同作業所	1988	28	258 m ²	W	1	不要	不要	●	x	x	x	x	x	x	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

施設内建物諸元

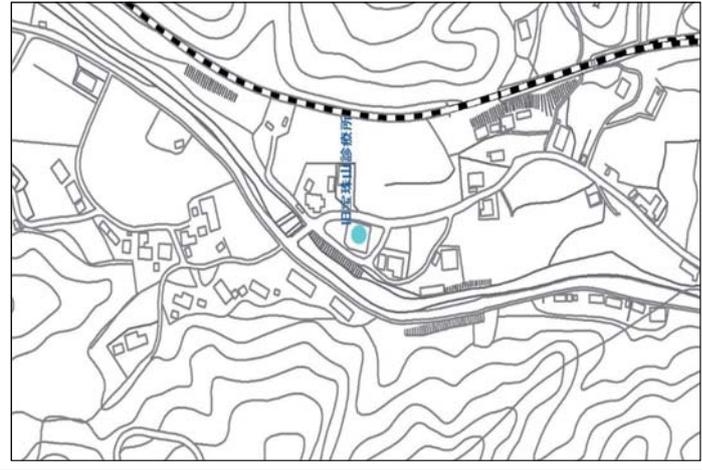
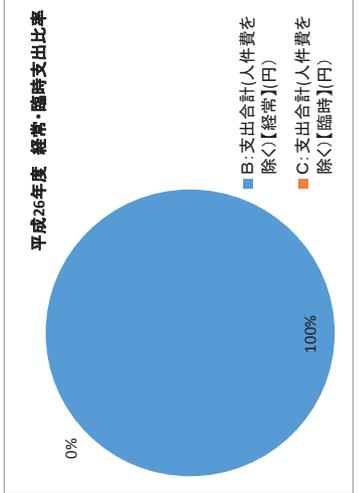
<MEMO>

施設名称：旧宝珠山診療所

大分類	宝珠山166-1	敷地面積	1,187㎡	合計	普通会計
所在地	宝珠山166-1	敷地面積	1,187㎡	合計	普通会計
総延床面積	494㎡	敷地面積	1,187㎡	合計	普通会計
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
利用状況	学校	学級数			

平成26年度	A: 収入合計(円)	600,000	E: 指 定 管 理 料 (円)	
2	B: 支出合計(人件費を除く)(経常)(円)	701,323	F: 収 支【経常】(A-B-D)	-101,323
年	C: 支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)		G: 総 収 支 (A-B-C-D-E)	-101,323
コスト状況	D: 人 件 費 (円)			
	a: 利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数			
	b: 床面積当り【経常】コスト B/延床面積	1,420		
	c: 【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B			
	d: 臨時的経費を除く総コスト B+D+E	701,323		
	e: 床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	1,420		

利便性 B 公共交通(電車・バス)を利用すれば利用しやすい場所にある
 被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある
 建築物劣化状況 A 目立った破損・外傷はない
 法定点検・調査等 D 委施についてはわからない
 消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる
 設備の劣化状況 B 細かい不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない
 除却要望 -
 備考 現在テレビ局として使用



全体写真

位置図

棟番号	棟名	建築年	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1	その他	1992	24	494㎡	RC	2	実施済	実施済	●	x	●	●	●	●	●	維持保全
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																

<MEMO>

施設名称：岩屋公園管理棟

大分類	公園	中分類	公園	所管課	企画政策課
所在地	宝珠山4152-1				
総延床面積	敷地面積	m ²	合計	普通会計	
施設保有状況	所有	土地保有状況	所有	総合施設区分	単独
運営方法	直営	正職員	人	正職員以外	人
年間利用者数	住宅 学校				
利用状況	総戸数	入居戸数	空室戸数	定員	児童生徒数
A：収入合計(円)	E：指 定 管 理 料 (円)				
B：支出合計(人件費を除く)(円)	F：収 支【経常】(A-B-D)				
C：支出合計(人件費を除く)(臨時)(円)	G：総 収 支 (A-B-C-D-E)				
D：人 件 費 (円)					

平成26年度コスト状況	a:利用1人当り【経常】コスト B/年間利用者数	191
	b:床面積当り【経常】コスト B/延床面積	31,541
	c:【経常】コストに占める使用料等収入の割合 A/B	260
	d:臨時的経費を除く総コスト B+D+E	
	e:床面積当り【経常+臨時】コスト (d+C)/床面積	

利便性 D 自動車を利用しない限り利用するのが困難な場所にある

被災の危険性 D ハザードマップなどで危険地域に指定されている場所にある

建物劣化状況 B 微細な破損・外観は存在するが、事故(タイルの落下等)に結び付く可能性は少ない

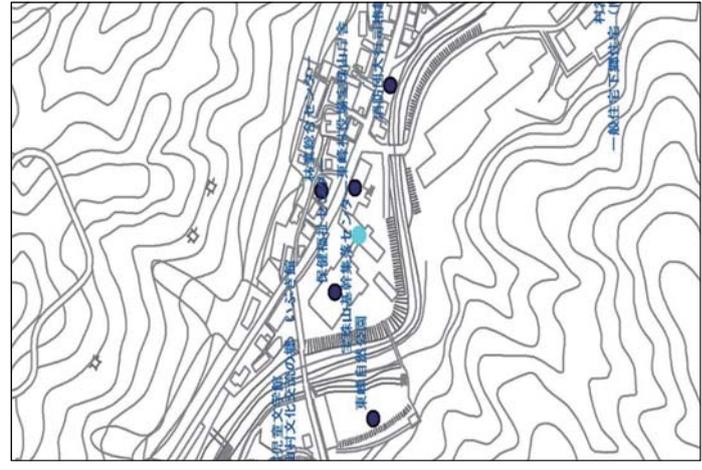
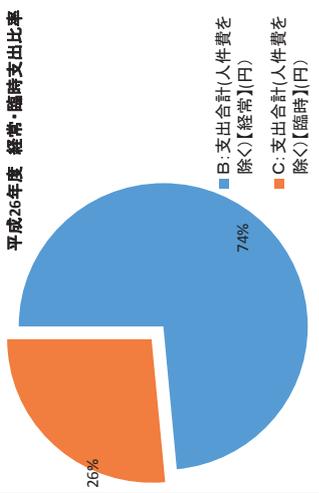
法定点検・調査等 A 法定点検や劣化診断を実施して特に問題は無い

消防設備等 A 適切な管理・交換が行われているため、正常に作動すると考えられる

設備の劣化状況 B 微細な不具合は存在するが、故障や事故に結び付く可能性は少ない

除却要望 -

備 考 -



全体写真

位置図

棟番号	棟名	築年数	延床面積	構造	階数	耐震診断	耐震補強	アスベスト	車椅子用エレベータ	身障者用トイレ	車椅子用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	判定
1															維持保全
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															

施設内建物諸元

<MEMO>